

1 スマートフォン アプリケーション

i-PRO Mobile APP

1.1 操作ガイド V12.1



本書に記載の画面はAndroidアプリケーション版を例として記載しています。実際とは異なる場合があります。

1.2 はじめに

1.2.1 概要

i-PRO Mobile APP は、当社製の以下の機器の映像を閲覧することができるスマートフォンアプリケーションです。(以降、本アプリ)

- ネットワークカメラ(以降、カメラ)
- ネットワークインターフェースユニット(以降、エンコーダー)
- デジタルディスクレコーダー(以降、レコーダー)
- ネットワークディスクレコーダー

対応機器の詳細は本アプリのウェブサイトを参照してください。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/tools/i-pro-mobile-app

また、本アプリでは、記録型クラウドカメラサービス i-PRO Remo. Service によるカメラの映像も閲覧することができます。

1 スマートフォンアプリケーション

i-PRO Mobile APP

1.2 はじめに

i-PRO Remo. Service について詳しくは、以下のウェブサイトを参照してください。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/products/i-pro-remo

3G / 4G / 5G / LTE 回線や無線 LAN (Wi-Fi) に接続することで、カメラやレコーダーのライブ映像や再生映像を閲覧することができます。

1.2.2 商標および登録商標について

- Google および Android は Google LLC の商標です。
- Apple は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

1.2.3 著作権について

i-PRO 株式会社(以下、当社といいます。)および／あるいはその許諾者が著作権を有する本ソフトウェアに関し、当社はお客様へライセンスするために必要な権利を有しています。お客様による本ソフトウェアの使用に関して、お客様には使用許諾中で許諾される以外は何らの権利も発生せず、本ソフトウェアに関する全ての権利は当社および／あるいはその許諾者に帰属します。

1.2.4 個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します※。

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※ 個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン(通則編)」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

1.2.5 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

1. お客様は、本ソフトウェアがいかなる状況においても不具合を生じることなく動作継続できるものではないことをあらかじめご了承ください。当社は、本ソフトウェアの動作、機能、バージョンアップ、サポート、継続的な提供等について、いかなる明示的な保証をするものではなく、本ソフトウェアは現状のままで提供されます。
2. 本ソフトウェアの不具合により記憶装置中に保存されたデータが変化・消失した場合でも、当社は保証致しません。

3. 当社は、本ソフトウェアの使用により、第三者が所有する知的財産権を侵害しない、もしくは侵害を引き起こさないことを保証するものではありません。
4. 当社は、お客様が本ソフトウェアを使用することあるいは使用できないことから生じる偶発的あるいは間接的な損害、または受けられるべき救済の損失、得べかりし利益の損失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。いかなる場合も（人身傷害において適用法令が別段の要求をする場合を除きます）、一切の損害に関するお客様に対する当社の賠償責任総額は、50 米ドルを上限とします。上記の救済が本質的目的を達成できない場合であっても、前述の制限が適用されます。
5. お客様が、オペレーティングシステムの変更あるいはバージョンアップ等の動作環境を変更された場合、当社は本ソフトウェアをその動作環境に適用させる責任を負いません。
6. お客様の変更または改造により、本ソフトウェアに何らかの欠陥が生じたとしても、当社は保証致しません。また、変更または改造の結果、万一お客様に損害を生じたとしても、当社は責任を負いません。
7. 本ソフトウェアの使用によって、大きなデータ容量の通信が発生する場合があります。お客様の通信に関する契約形態によっては高額のデータ通信料金が発生する場合がありますが、当社はかかる通信料金について、いかなる責任も負いません。
8. 外部サービスや他の機器を利用する機能は、外部の影響により機能が停止又は不調になる場合があります。

2 準備編

2.1 アプリを準備する

2 準備編

2.1 アプリを準備する

2.1.1 インストールする

スマートフォン・タブレットにて、Google PlayまたはApp Storeから本アプリをインストールしてください。



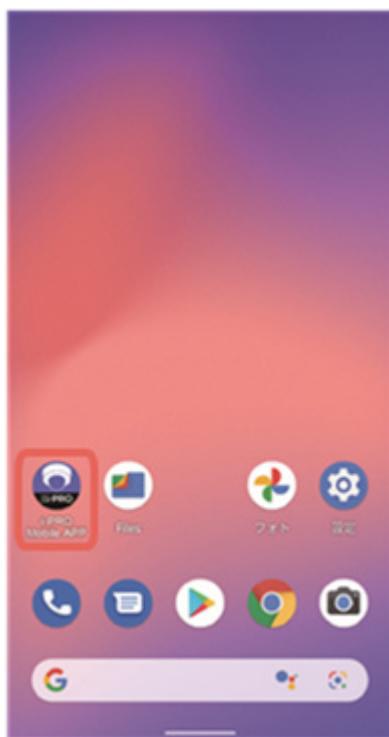
アプリ名 : i-PRO Mobile APP

対応OS : Android: 10.0以上

iOS: 13.0以上

2.1.2 起動する

スマートフォン・タブレットにインストールした本アプリをタップして起動します。



2 準備編

2.2 機器情報を登録する

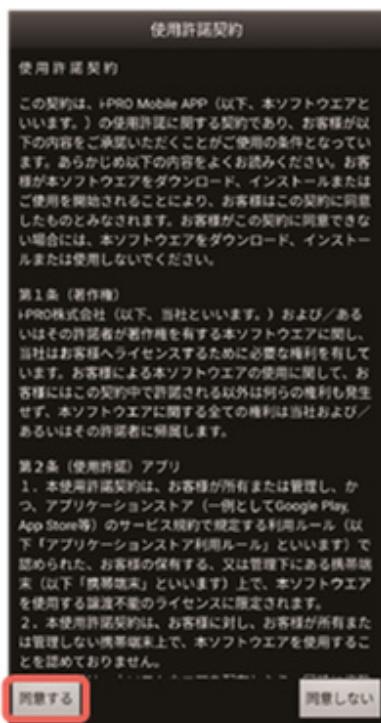
2.2 機器情報を登録する

本アプリを使うには、まず接続するカメラやレコーダーの登録が必要です。

- 登録できるカメラやレコーダーの台数については、「[5.1 仕様](#)」をお読みください。



初めて本アプリを起動すると、次の画面が表示されます。



1 [同意する]をタップする。

⇒ 機器設定画面が表示されます。



2 をタップする。

⇒ 機器登録画面が表示されます。

2 準備編

2.2 機器情報を登録する



3 各項目をタップして設定する。

各設定項目については、「[2.2.1 設定項目一覧](#)」を参照してください。

4 入力が完了したら[登録]をタップする。

5 [映像確認]をタップする。

⇒ 登録した機器やWebサービスのカメラリスト画面が表示されます。[\(3.1.1 カメラリスト画面\(ライブ\)について\)](#)



Webサービス登録画面

(「接続先種別」で「i-PRO Remo.Service」を選択時に表示)

2.2.1 設定項目一覧

項目	設定内容
名称	本アプリ上で表示される名称を16文字以内で入力します。 例:i-pro レコーダー(入力可能文字:英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、記号)

2 準備編

2.2 機器情報を登録する

接続先種別	登録する接続先の種別を選択します。 レコーダー／カメラ／カメラ(マルチセンサー)／エンコーダー／カメラ(ONVIF)／i-PRO Remo. Service ^{※1}
アドレス	アドレスは接続環境によって以下のようになります。 インターネット経由の場合^{※2}: 登録する機器に設定したDDNS ^{※3} のURL、またはルーターのグローバルIPアドレスを入力します。 ローカルネットワーク内の場合: 登録する機器のローカルIPアドレスを入力します。
ポート番号	登録する機器のHTTPポート番号(0～65535)またはHTTPSポート番号(0～65535)を入力します。 SSL通信を「オン」または「オン(映像・設定データ)」で利用する場合 あらかじめ、登録する機器でHTTPSの設定を行ってください。設定方法などの詳しくは、各機器の取扱説明書をお読みください。
SSL通信	登録する機器との通信方法を以下から選択します。 「接続先種別」で「カメラ」「カメラ(マルチセンサー)」「エンコーダー」「カメラ(ONVIF)」を選択している場合: オフ／オン 「接続先種別」で「レコーダー」を選択している場合: オフ／オン(設定データのみ)／オン(映像・設定データ)
CH	「接続先種別」で「エンコーダー」に設定すると表示されます。 表示させたいエンコーダーのCH(チャンネル)を入力してください。
カメラ番号	「接続先種別」で「カメラ(マルチセンサー)」に設定すると表示されます。 表示させたいマルチセンサーカメラのカメラ番号を選択してください。
ユーザー名	機器に登録したユーザー名を入力します。
パスワード	機器に登録したパスワードを入力します。
ライブ設定	ライブ映像のストリームや解像度、フレームレートを設定します。 詳しくは 2.2.3 ライブストリーム設定について 、 2.2.4 フレームレート設定について 、 2.2.5 ライブ解像度設定について をお読みください。
再生設定	「接続先種別」で「レコーダー」に設定、登録後に表示されます。 再生時の設定(再生モード)を以下から設定します。 モバイル再生／通常再生／低負荷再生(初期設定:モバイル再生) 詳細については、「 3.9 再生時の設定を切り替える 」をお読みください。
メールアドレス	「接続先種別」で「i-PRO Remo. Service」を選択すると表示されます。 i-PRO Remo. Serviceで登録したメールアドレスを入力してください。
パスワード	「接続先種別」で「i-PRO Remo. Service」を選択すると表示されます。 i-PRO Remo. Serviceで登録したパスワードを入力してください。

2 準備編

2.2 機器情報を登録する

※1 「i-PRO Remo. Service」が表示されない場合は、「[4.3.1 Web サービスを選択する](#)」をお読みください。

※2 インターネット経由でご利用になる場合は、ルーターのポートフォワーディング機能を設定してください。設定方法については、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。また、カメラのUPnP(自動ポートフォワーディング)をOnにすることで自動でルーターとの設定をすることもできます(ただし、UPnP対応のルーターが必要です)。

設定方法については、お使いのカメラの取扱説明書を以下のURLからダウンロードして参照してください。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/documentation-database

※3 DDNSは以下のサービスをご利用ください。

国内のお客様:みえますねっと <https://miemasu.i-pro.com/>

2.2.2 ライブ映像の種類について

ライブ映像には以下の5種類があり、ライブ映像の種類によって表示可能な映像と音声が異なります。

IP接続

IP接続では、機器のIPアドレス、ポート番号、ユーザ名、パスワードを入力し機器登録を行います。

(1)独立カメラのライブ映像

独立カメラから送られてくるライブ映像のことです。

独立カメラとは:

本アプリに単独で登録したカメラのことで、「接続先種別」で「カメラ」「カメラ(マルチセンサー)」「エンコーダー」「カメラ(ONVIF)」として登録した機器を指します。

(2)レコーダー配下カメラのライブ映像(レコーダー経由)

レコーダー配下カメラからレコーダーを経由して送られてくるライブ映像のことです。

レコーダー配下カメラとは:

本アプリで登録したレコーダー内に登録されているカメラを指します。

(3)レコーダー配下カメラのライブ映像(カメラ直接)

レコーダー配下カメラからレコーダーを経由せずに直接送られてくるライブ映像のことです。

クラウドサービス接続 (i-PRO Remo. Service)

クラウドサービス接続(i-PRO Remo. Service)では、i-PRO Remo. Serviceのアカウントのメールアド

2 準備編

2.2 機器情報を登録する

レスとパスワードを入力しサービス登録を行います。

(4) サービス登録をしたカメラのライブ映像(カメラダイレクト接続)

i-PRO Remo. Service に登録したカメラから直接送られてくるライブ映像のことです。

(5) サービス登録をしたエッジストレージ配下カメラのライブ映像(エッジストレージ経由)

i-PRO Remo. Service に登録したエッジストレージ配下のカメラから送られてくるライブ映像のことです。

エッジストレージ配下カメラとは:

エッジストレージに登録されているカメラを指します。

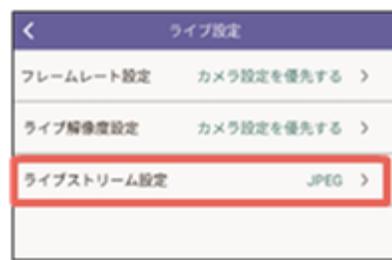
2.2.3 ライブストリーム設定について

ライブ映像の種類によって設定できるストリームが異なります。

ライブ映像の種類については、「[2.2.2 ライブ映像の種類について](#)」をお読みください。



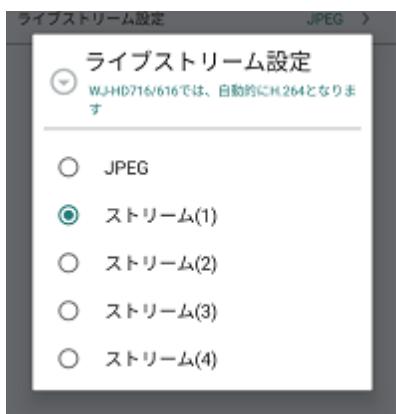
1 [ライブ設定]をタップする。



2 [ライブストリーム設定]をタップする。

2 準備編

2.2 機器情報を登録する



3 ライブストリームを設定する。

設定できるストリームは以下になります。

- 独立カメラのライブ映像:JPEG、ストリーム(1)～(4)
- レコーダー配下カメラのライブ映像(レコーダー経由):JPEG、H.264/H.265
- レコーダー配下カメラのライブ映像(カメラ直接):JPEGのみ

独立カメラのライブ映像の設定



レコーダー配下カメラのライブ映像(レコーダー経由)の設定

2.2.4 フレームレート設定について

ライブ映像のフレームレートを設定します。

機器登録画面の[ライブ設定]をタップします。(2.2.3 ライブストリーム設定について)



1 [フレームレート設定]をタップする。

!

- 「ライブストリーム設定」が「H.264/H.265」または「ストリーム(1)～(4)」に設定されていると、「フレームレート設定」の設定を変更することができません。また、フレームレートが変更できない場合、機器に設定されているフレームレートで配信されます。

2 準備編

2.2 機器情報を登録する



2 フレームレートを設定する。

フレームレートを以下から設定します。

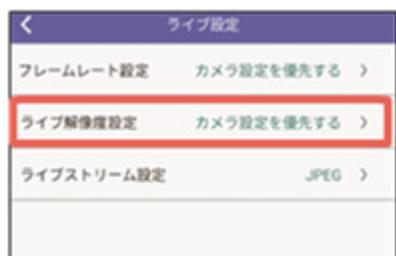
カメラ設定を優先する※／0.5 fps／1.0 fps／2.0 fps／5.0 fps

※カメラに設定されているフレームレートで受信します。

2.2.5 ライブ解像度設定について

ライブ映像の解像度を設定します。

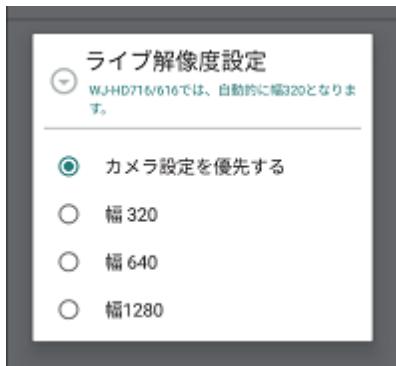
機器登録画面の[ライブ設定]をタップします。(2.2.3 ライブストリーム設定について)



1 [ライブ解像度設定]をタップする。



● 「ライブストリーム設定」が「H.264/H.265」または「ストリーム(1)～(4)」に設定されていると、「ライブ解像度設定」を変更することができません。また、ライブ解像度が変更できない場合、機器に設定されている解像度で配信されます。



2 ライブ解像度を設定する。

解像度を以下から設定します。

カメラ設定を優先する※／幅320／幅640／幅1280

※カメラに設定されている解像度で受信します。

3 操作編

3.1 ライブ映像を確認する

3 操作編

3.1 ライブ映像を確認する

接続した独立カメラやレコーダー配下のカメラ、i-PRO Remo. Service によるカメラのライブ映像を確認します。

ライブ映像の確認は、カメラリスト画面とライブ画面を切り替えて行います。

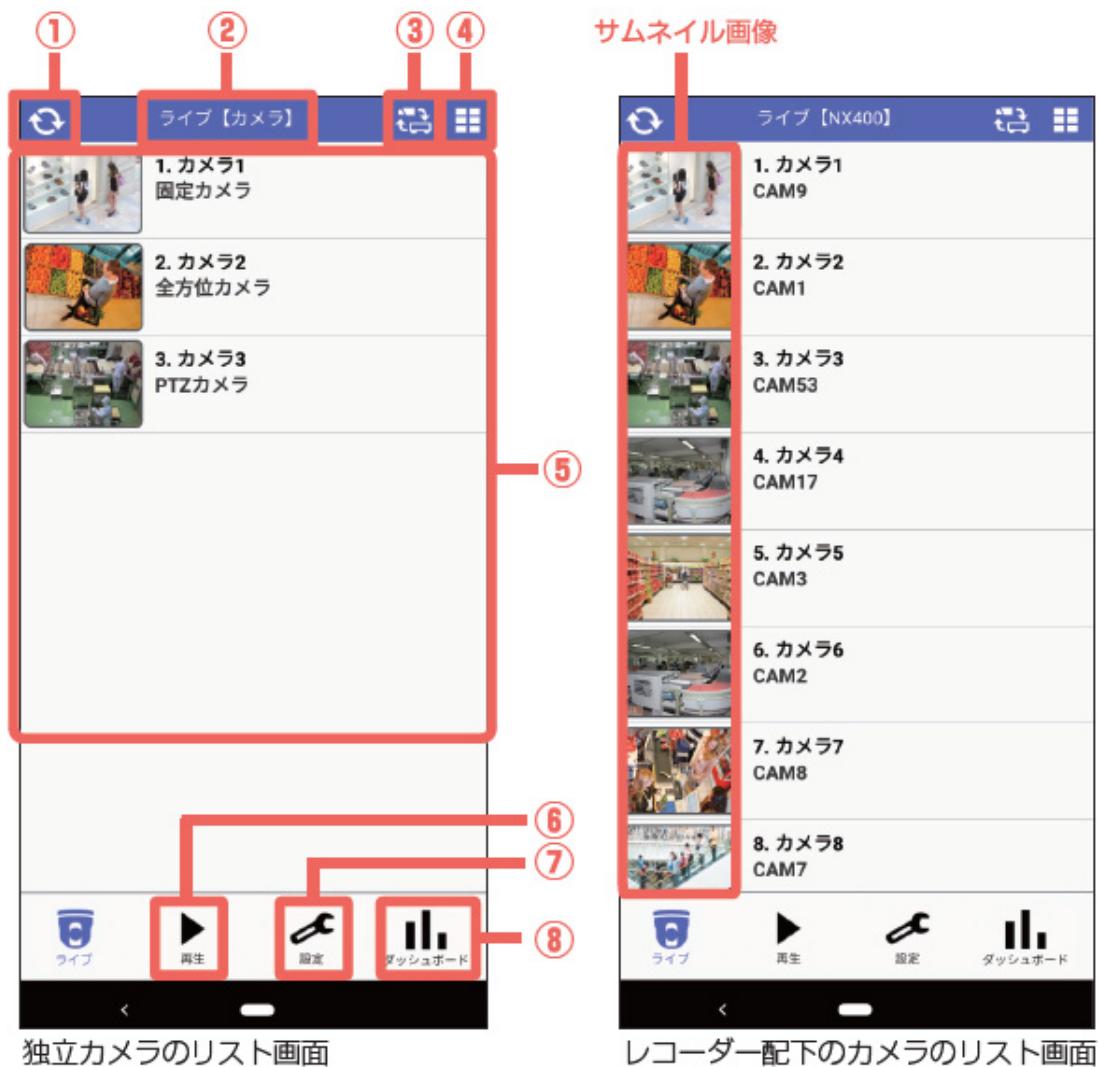


- 本アプリを使用してライブ映像を確認する場合、アクセスできるユーザー数に制限があります。同時にアクセスできるユーザー数については、「[5.1 仕様](#)」をお読みください。

3 操作編

3.1 ライブ映像を確認する

3.1.1 カメラリスト画面(ライブ)について



- i-PRO Remo. Service で設定した権限によっては、本アプリで操作できる機能が変わります。
- i-PRO Remo. Service でフォルダーを作成している場合、フォルダー選択画面からカメラを選択することができます。(3.14 フォルダー選択画面からカメラを選択する(i-PRO Remo. Service 連携))
- i-PRO Remo. Service の場合、ページ送りの操作で表示するカメラを切り替えることができます。(3.14.3 カメラリスト画面で表示するページを切り替える)

① (1) (更新)

サムネイル画像*が最新の状態に更新されます。

*サムネイル画像:「カメラ一覧」のカメラ名の左側にある画像です。

② タイトル

3 操作編

3.1 ライブ映像を確認する

映像の種別(ライブ／再生)と登録した機器名称が表示されます。

ただし、独立カメラの場合、登録した機器名称ではなく、「カメラ」と表示されます。

また、「i-PRO Remo. Service」の場合、Web Service 名称が表示されます。(2.2.1 設定項目一覧)



③ (カメラ／レコーダー切り替え)

独立カメラのリスト画面とレコーダー配下のカメラのリスト画面を切り替えます。

Web サービスを登録している場合、Web サービスを選択することもできます。

④ (多画面切り替え)

カメラ一覧の表示を多画面表示に切り替えます。

⑤ カメラ一覧

接続したカメラが一覧で表示されます。

各カメラをタップすると、選択したカメラのライブ画面(3.1.2 ライブ画面について)が表示されます。

⑥ (再生)

再生のカメラリスト画面(3.5.1 カメラリスト画面(再生)について)に切り替えます。

⑦ (設定)

設定画面(4.1 各種設定をする)が表示されます。

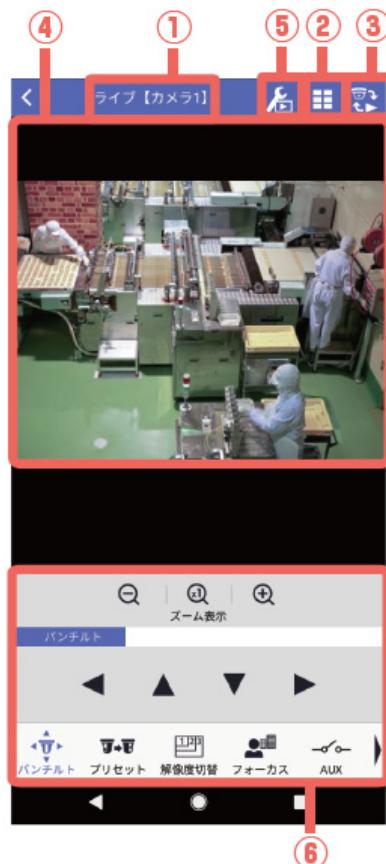
⑧ (ダッシュボード)

ダッシュボード画面(3.11 ダッシュボードを表示する)が表示されます。

3 操作編

3.1 ライブ映像を確認する

3.1.2 ライブ画面について



横画面の場合 (コントロールパネル非表示)



横画面の場合 (コントロールパネル表示)

横画面のコントロールパネルについて

画面中央下の△マークをタップすると、コントロールパネルが表示されます。

コントロールパネル表示中、コントロールパネル以外の箇所をタップすると、コントロールパネルが非表示になります。

① タイトル

映像の種別(ライブ／再生)とカメラ番号が表示されます。

② (多画面切り替え)

多画面表示(6画面／8画面／9画面／16画面)に切り替えます。多画面表示については、「[3.3 多画面表示に切り替える](#)」をお読みください。

● 多画面表示の画面数の設定については、「[4.4.4 多画面表示を設定する\[多画面表示設定\]](#)」をお読みください。



③ (ライブ／再生切り替え)

3 操作編

3.1 ライブ映像を確認する

再生画面(3.5.2 再生画面について)に切り替えます。

④ ライブ映像表示

カメラリスト画面で選択したカメラのライブ映像が表示されます。画面をフリックすると、リスト順にカメラ映像が切り替わって表示されます。



⑤ (カメラ設定)

カメラ設定画面に切り替えます。本アプリからのカメラ設定に対応したカメラの場合に、このボタンが表示されます。

固定カメラ／PTZ カメラの画面操作

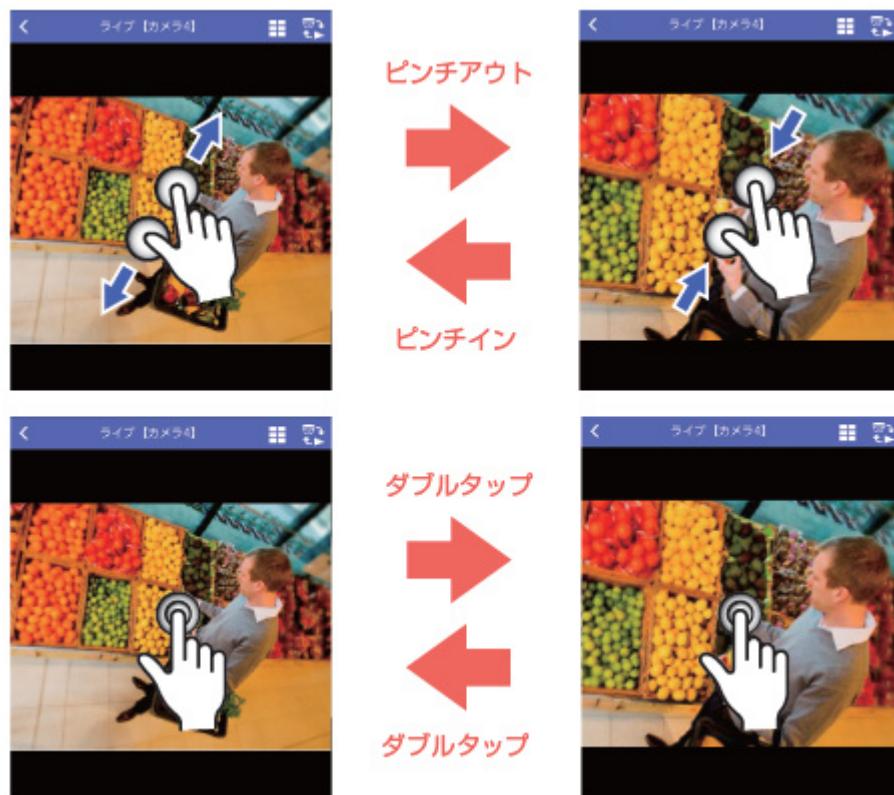
- ピンチアウトまたはダブルタップすると拡大表示され、拡大表示中にピンチインすると縮小表示、ダブルタップすると元のサイズに戻ります。

ただし、PTZ カメラではダブルタップで拡大表示することができません。

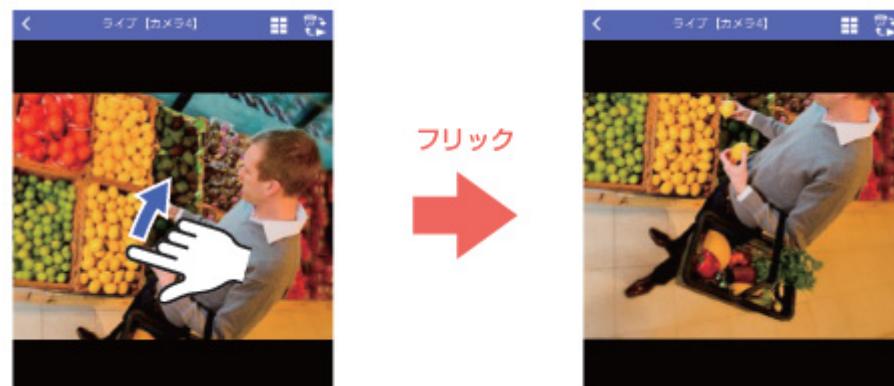
(拡大表示はピンチアウトのみ)

3 操作編

3.1 ライブ映像を確認する



- 拡大表示中にフリックすると、拡大表示のまま、映像の向きを移動することができます。



- 画面内をタップすると、その位置が画面中央になるようカメラの向きが移動します(PTZカメラのみ)。

3 操作編

3.1 ライブ映像を確認する



- 全方位カメラの場合、デワーープ機能が操作できます。デワーープ機能については、「[3.10 デワーープ機能を操作する](#)」をお読みください。

⑥ カメラ操作パネル

パン・チルト、ズームなどライブ映像を操作します。

詳しくは、「[3.2 ライブ映像を操作する](#)」をお読みください。

また、以下の機能も操作できます。

- 音声送話 ([音声送話](#))

スマートフォンからi-PRO Remo. Serviceに登録しているカメラに音声を送話することができます。

- AUX 制御 ([AUX](#))

カメラのAUX 端子に接続された機器をオープン状態／クローズ状態にします。

- ダッシュボード機能 ([3.11 ダッシュボードを表示する](#))

各カメラの人数カウント情報を確認することができます。

3.1.3 ライブ映像の映像／音声について

ライブ映像の種類によって表示可能な映像と音声が異なります。

ライブ映像の種類については、「[2.2.2 ライブ映像の種類について](#)」をお読みください。



- i-PRO Remo. Serviceの仕様について詳しくは、以下のウェブサイトの「仕様」→「仕様／動作環境／制限事項」を参照してください。

<https://japanics.i-pro.com/space/IWSM>

音声機能を使用するには

接続する機器でも音声の設定が必要です。

以下の設定を確認してください。

3 操作編

3.1 ライブ映像を確認する

カメラの場合

- 本アプリの[音声設定]—[受話設定]を「オン」にする。(4.5 音声に関する設定を行う[音声設定])
- カメラの「音声配信モード」が「受話」「双方向(半二重)」「双方向(全二重)」のいずれかになっている。

レコーダー／エッジストレージの場合

- 本アプリの[音声設定]—[受話設定]を「オン」にする。(4.5 音声に関する設定を行う[音声設定])
- レコーダーの[録画・イベント]—[録画設定]—[録音]とカメラの「受話音声圧縮方式」の設定が以降に記載する内容(条件)を満たしているか確認する。

表示可能な映像

- 独立カメラのライブ映像 :JPEG、ストリーム(1)～(4)
- レコーダー配下カメラのライブ映像(レコーダー経由):JPEG、H.264／H.265
- レコーダー配下カメラのライブ映像(カメラ直接) :JPEGのみ

映像と音声の対応について

ライブの種類	映像	音声	
		G.726	AAC
独立カメラのライブ映像	MJPEG	○	—
	H.264	○	○
	H.265 ^{※1}	○	○
レコーダー配下カメラのライブ映像(レコーダー経由)	MJPEG	—	—
	H.264	○	○
	H.265 ^{※2}	○	○
レコーダー配下カメラのライブ映像(カメラ直接)	MJPEG	○	—
	H.264	—	—
	H.265	—	—
i-PRO Remo. Service に登録したカメラのライブ映像(カメラダイレクト接続)			
i-PRO Remo. Service に登録したエッジストレージ配下カメラのライブ映像(エッジストレージ経由)		—	○
		—	○

※1 独立エンコーダーの場合はH.265は視聴できません。

※2 WJ-ND400 とNVシリーズレコーダーの場合はH.265は視聴できません。



- WJ-HD616/HD716配下のカメラのライブ映像は、レコーダー経由の場合のみ視聴可能です。音声はG.726のみになります。
- WJ-SD202K配下のカメラのライブ映像は以下のようになります。
 - ・JPEG:G.726に対応
 - ・H.264:G.726とAAC-LCに対応
 - ・H.265:視聴不可

3.2 ライブ映像を操作する

パンチルト／ズーム／プリセット／解像度切替／フォーカスの操作を行います。

カメラ操作パネルの各ボタンをタップして操作します。



- 固定カメラの場合、「AUX」、「解像度切換」、「保存」、「ダッシュボード」が表示されます。
- カメラの撮像モードが「魚眼」に設定されている全方位カメラでは、「解像度切替」と「保存／スナップショット」しか操作できません。

パンチルト

カメラの向きを上下左右に移動します。



ズーム

カメラ映像を拡大／等倍／縮小表示します。

3 操作編

3.2 ライブ映像を操作する



⊖ : 映像を縮小表示します(ズームアウト)

⊕ : 映像を等倍表示します

⊕ : 映像を拡大表示します(ズームイン)

プリセット

カメラにあらかじめ設定してあるプリセットポジションにカメラの向きを移動させます。

プリセットポジションについては、カメラの取扱説明書をお読みください。

● 本アプリでは、カメラのプリセットポジションの設定はできません。



HOME : ホームポジションにカメラの向きを移動します

P1 : プリセットポジション1 にカメラの向きを移動します

P2 : プリセットポジション2 にカメラの向きを移動します

P3 : プリセットポジション3 にカメラの向きを移動します

解像度切替

カメラ映像の解像度を切り替えます。



320 : 解像度を320 にします

640 : 解像度を640 にします

1280 : 解像度を1280 にします

3 操作編

3.2 ライブ映像を操作する



- 独立カメラで、ストリームがストリーム(1)～(4)に設定されている場合、「解像度切替」は表示されません。
- レコーダー配下カメラで、ストリームがH.264/H.265に設定されている場合、「解像度切替」は表示されません。
- 「解像度切替」が表示されない場合、カメラ映像は機器側で設定された解像度になります。

音声送話

本アプリを使ってスマートフォンからi-PRO Remo. Serviceに登録しているカメラに音声を送話することができます。



音声送話をタップします。



- 音声送話機能に対応しているライブ映像の種類は以下です。[\(2.2.2 ライブ映像の種類について\)](#)
 - ・ i-PRO Remo. Serviceに登録したカメラのライブ映像(カメラダイレクト接続)
 - ・ i-PRO Remo. Serviceに登録したエッジストレージ配下カメラのライブ映像(エッジストレージ経由)

上記以外のカメラの場合、カメラ操作パネルに[音声送話]ボタンは表示されません。

- 音声送話機能を使用するには以下の設定が必要です。

- ・ カメラの「音声配信モード」を「送話」または「双方向(全二重)」「双方向(半二重)」にする。
 - ・ i-PRO Remo. Serviceの権限設定で「音声送話」を有効にする。



送話ボタンタップで音声送話を開始します。

3 操作編

3.2 ライブ映像を操作する



音声送話中は送話ボタンが青色になり、送話可能な残り時間が表示されます。

もう一度送話ボタンを押すと、音声の送話を終了します。

また、送話可能な残り時間が0秒になった場合や、画面を戻ったり、カメラ切替を行うと、自動で音声送話が終了します。

フォーカス

カメラ映像のフォーカス(焦点)を調整します。



AF :オートフォーカスが働き、画面の中心領域の被写体に自動でフォーカスを調節します

人 :フォーカス(焦点)を「近」方向に調節します

■ :フォーカス(焦点)を「遠」方向に調節します

AUX

本アプリからカメラのAUX 端子を制御します。

カメラのAUX 端子に接続された機器をオープン状態／クローズ状態にします。



● カメラの AUX を制御できるのは、以下のカメラのみです。(2.2.2 ライブ映像の種類について)

- ・独立カメラ
- ・レコーダー配下カメラ
- ・i-PRO Remo. Serviceに登録したエッジストレージ配下カメラ(エッジストレージ経由)

上記以外のカメラの場合、カメラ操作パネルに[AUX]ボタンは表示されません。

●AUX機能を使用するには以下の設定が必要です。

- ・カメラの端子3の設定を「AUX出力」にする。
- ・i-PRO Remo. Serviceの権限設定で「カメラ制御」を有効にする。(i-PRO Remo. Serviceに登録したエッジストレージ配下カメラのAUX制御を行う場合)

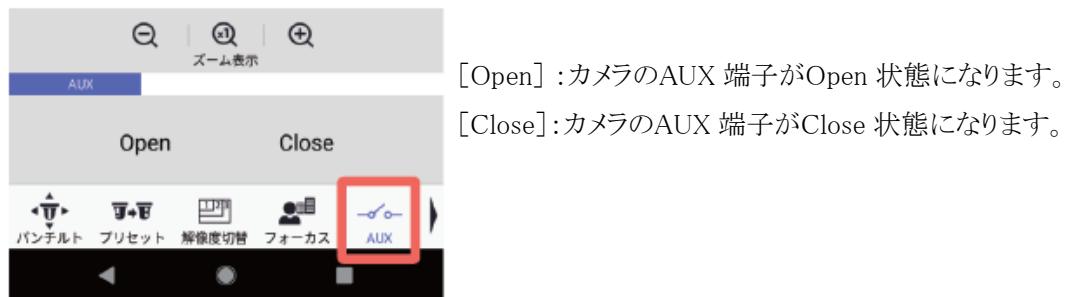
● [Open]ボタン、[Close]ボタンの名称は変更することができます。変更方法に

3 操作編

3.3 多画面表示に切り替える

については、「[4.4.7 AUX 名称を設定する\[AUX 名称\]](#)」をお読みください。

- AUX 制御は、ライブ映像で状態を確認できる用途で使用してください。
(例: カメラが設置されている場所の照明を制御する など)



保存／スナップショット

表示しているライブ映像をカメラのSD メモリーカードに保存したり、静止画(スナップショット)で保存することもできます。
操作方法など詳しくは、「[3.4 ライブ映像を保存する](#)」をお読みください。

レコーダー配下カメラのカメラ操作パネルでは  (保存) が、  (スナップショット) になります。



3.3 多画面表示に切り替える

カメラ映像を6 画面／8 画面／9 画面／16 画面に切り替えて表示します。

多画面のカメラ映像は1 fps で表示します。ただし、お使いのネットワーク環境やスマートフォン・タブレットによって、実際のフレームレートは変動します。

3 操作編

3.3 多画面表示に切り替える

6画面表示



8画面表示



縦画面の表示例です。多画面表示は横画面にも対応しています。

9画面表示



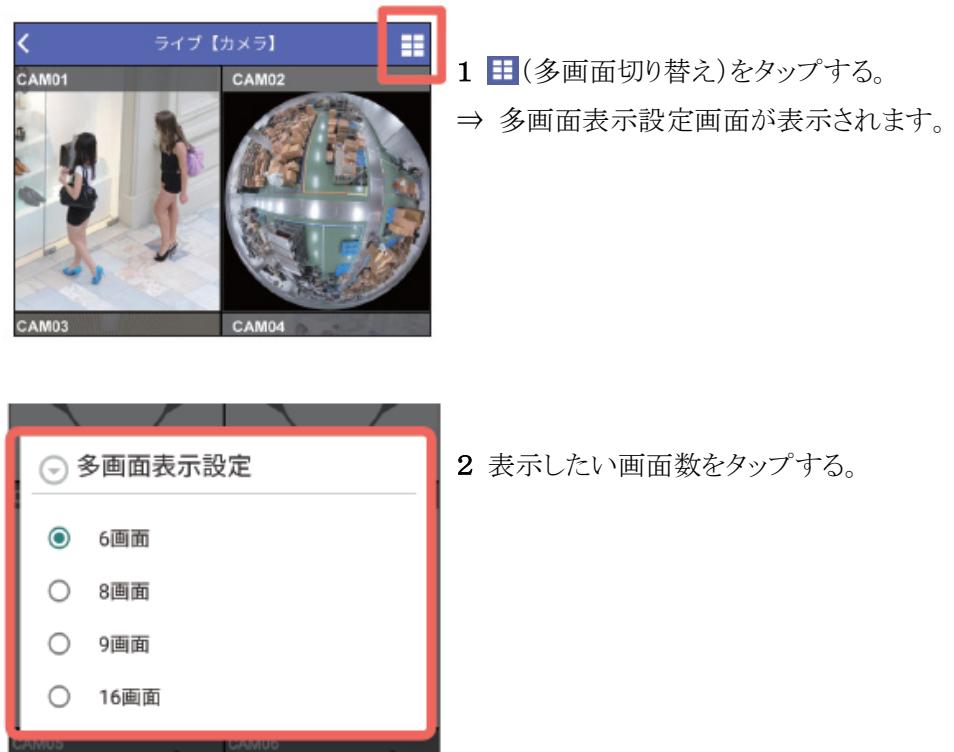
3 操作編

3.3 多画面表示に切り替える

16画面表示



横画面の表示例です。多画面表示は縦画面にも対応しています。



- 表示する画面数の設定は、「[4.4.4 多画面表示を設定する\[多画面表示設定\]](#)」でも行えます。
- 多画面の各カメラ映像の画像表示(アスペクト比／拡大縮小／クロッピング)の設定については、「[4.4.5 多画面の画像表示を設定する\[多画面画像表示設定\]](#)」をお読みください。

3.4 ライブ映像を保存する

カメラのライブ映像は、カメラのSDメモリーカードに保存したり、静止画(スナップショット)で保存することもできます。



- 本アプリからカメラのSDメモリーカードへの手動保存操作ができるのは、独立カメラの場合のみです。
- ライブ映像を保存するには、接続しているカメラの手動録画機能が有効である必要があります。カメラの以下の状態や設定を確認してください。
 - ・カメラがSDメモリーカードに対応していること
 - ・カメラのSDメモリーカードが挿入されていること
 - ・カメラの設定が「SDメモリーカードを使用する」になっていること
 - ・カメラの保存モードが「手動保存」になっていること
- カメラの「録画圧縮方式」の設定が「JPEG」になっている場合、本アプリで手動保存することはできません。

3.4.1 ライブ映像をSDメモリーカードに保存する

ライブ映像をSDメモリーカードに保存します。

カメラ操作パネルの (保存) をタップします。(保存／スナップショット)



1 (録画) をタップする。

⇒ 現在表示されているライブ映像の録画が始まります。



2 (停止) をタップする。

⇒ 録画が停止します。

3.4.2 静止画保存する[スナップショット]

ライブ映像をスナップショット(静止画1枚)で取得しスマートフォンに保存します。

独立カメラとレコーダー配下カメラで操作方法が異なります。

また、保存した静止画は以下のアプリで確認できます。

3 操作編

3.5 録画映像を再生する

- Android の場合 :「ギャラリー」アプリ

- iOS の場合 :「写真」アプリ

独立カメラの場合

カメラ操作パネルの  (保存) をタップします。(保存／スナップショット)



1  (スナップショット) をタップする。

⇒ 表示していた画像が静止画で保存されます。

レコーダー配下カメラの場合



1 カメラ操作パネルの  (スナップショット) をタップする。

⇒ 表示していた画像が静止画で保存されます。

3.5 録画映像を再生する

カメラのSD メモリーカードに録画(SD 録画)されている映像やレコーダーに録画(レコーダー録画)されている映像、エッジストレージに録画(エッジストレージ録画)されている映像を再生します。録画映像の再生は、カメラリスト画面と再生画面を切り替えて行います。

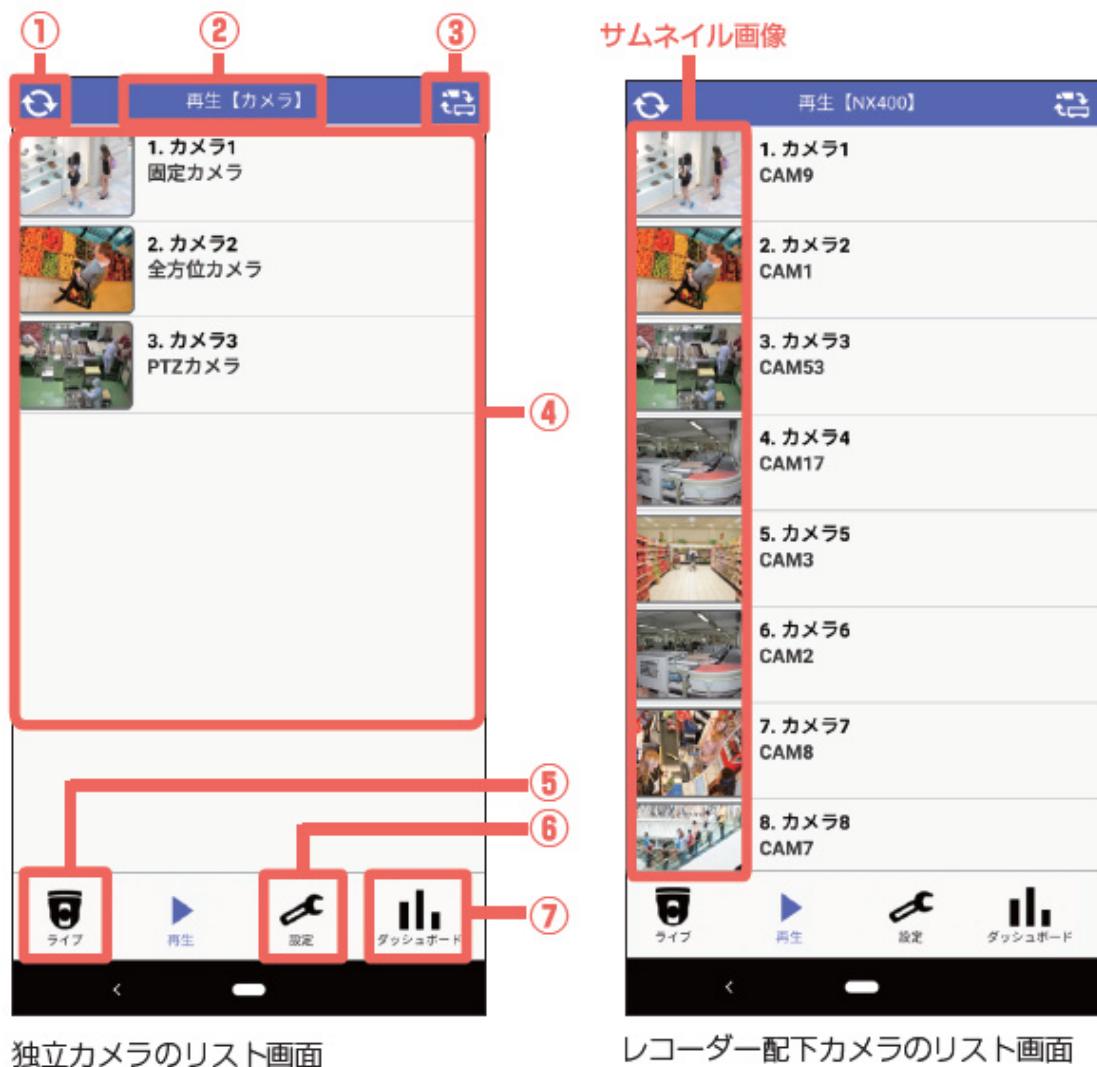


- 本アプリを使用して録画映像を再生する場合、アクセスできるユーザー数に制限があります。同時にアクセスできるユーザー数については、「[5.1 仕様](#)」をお読みください。

3 操作編

3.5 録画映像を再生する

3.5.1 カメラリスト画面(再生)について



- i-PRO Remo. Service で設定した権限によっては、本アプリで操作できる機能が変わります。
- i-PRO Remo. Service でフォルダーを作成している場合、フォルダー選択画面からカメラを選択することができます。(3.14 フォルダー選択画面からカメラを選択する(i-PRO Remo. Service 連携))
- i-PRO Remo. Service の場合、ページ送りの操作で表示するカメラを切り替えることができます。(3.14.3 カメラリスト画面で表示するページを切り替える)

① (更新)

サムネイル画像*が最新の状態に更新されます。

*サムネイル画像:「カメラ一覧」のカメラ名の左側にある画像です。

② タイトル

3 操作編

3.5 録画映像を再生する

映像の種別(ライブ／再生)と登録した機器名称が表示されます。

ただし、独立カメラの場合、登録した機器名称ではなく、「カメラ」と表示されます。

また、「i-PRO Remo. Service」の場合、Web Service 名称が表示されます。(2.2.1 設定項目一覧)



③ (カメラ／レコーダー切り替え)

独立カメラのリスト画面とレコーダー配下のカメラのリスト画面を切り替えます。

Web サービスを登録している場合、Web サービスを選択することもできます。

④ カメラ一覧

接続したカメラが一覧で表示されます。各カメラをタップすると、選択したカメラの再生画面

(3.5.2 再生画面について)またはイベント画面(3.7.2 イベントを検索して再生する)が表示されます。



- カメラをタップした際に表示される画面は、再生画面とイベント画面のどちらかを選択することができます。詳しくは、「4.8 再生画面の初期表示設定を行う[詳細設定]」をお読みください。

⑤ (ライブ)

ライブのカメラリスト画面(3.1.1 カメラリスト画面(ライブ)について)に切り替えます。

⑥ (設定)

設定画面(4.1 各種設定をする)が表示されます。

⑦ (ダッシュボード)

ダッシュボード画面(3.11 ダッシュボードを表示する)が表示されます。

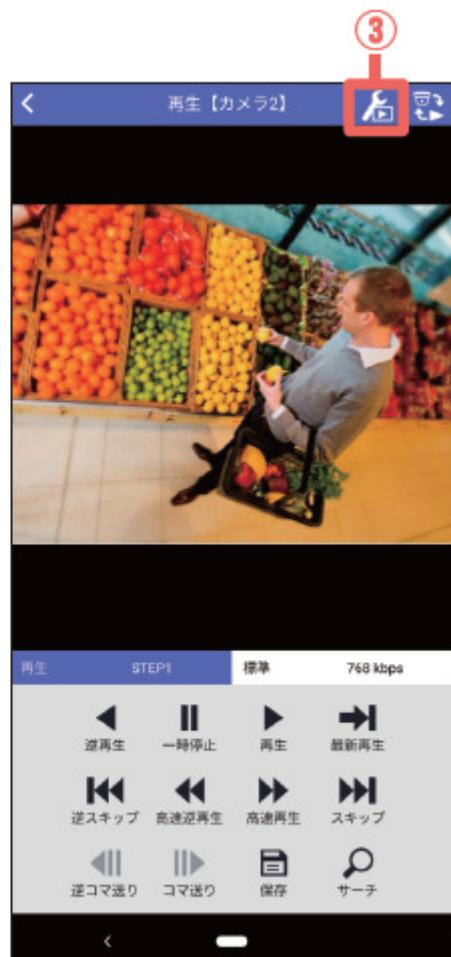
3 操作編

3.5 録画映像を再生する

3.5.2 再生画面について



SD録画の再生画面



レコーダー録画の再生画面



SD録画の再生画面（横画面）



レコーダー録画の再生画面（横画面）

横画面のコントロールパネルについて

画面内をタップすると、コントロールパネルが表示されます。

コントロールパネル表示中、コントロールパネル以外の個所をタップすると、コントロールパネルが非表示になります。

3 操作編

3.5 録画映像を再生する

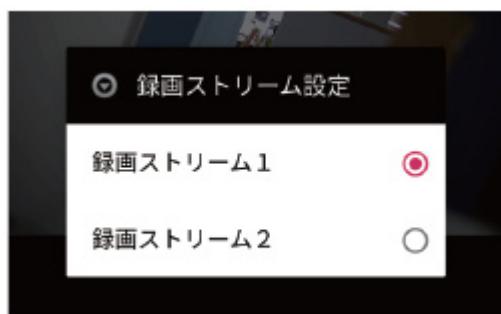
① タイトル

映像の種別(ライブ／再生)とカメラ番号が表示されます。

② (ストリーム切り替え)※ SD 録画の再生画面時

録画ストリームが複数あるカメラの場合に表示されます。

タップすると、以下の画面が表示され、再生時のストリームを設定できます。



●  (ストリーム切り替え)は以下の場合、表示されません。

- ・レコーダーの録画映像を再生する場合
- ・録画ストリームの設定が複数無いカメラの場合

③ (再生設定)※レコーダーの再生画面時(対応機種:WJ-NV250/300、NX シリーズ、NU シリーズ)

スマートフォン対応の画面サイズ／レートに再エンコードして再生することができ、3つの再生モードから設定します。再生モードや設定方法については、「[3.9 再生時の設定を切り替える](#)」をお読みください。

④ (ライブ／再生切り替え)

ライブ画面([3.1.2 ライブ画面について](#))に切り替えます。

⑤ 再生映像表示

カメラリスト画面で選択したカメラの録画映像が表示されます。画面をフリックすると、リスト順にカメラの再生映像が切り換わって表示されます。





- 全方位カメラの場合、デワープ機能が操作できます。デワープ機能については、「3.10 デワープ機能を操作する」をお読みください。

⑥ 再生操作パネル

再生映像の一時停止やスキップなど、再生映像に関する操作を行います。

再生操作パネルは、SD 録画再生とレコーダー再生で表示されるボタンが異なります。

詳しくは、「3.6 再生映像を操作する」をお読みください。

3.5.3 再生映像の映像／音声について

録画映像の種類によって表示可能な映像と音声が以下のようになります。

ライブの種類	映像	音声	
		G.726	AAC
独立カメラのSD メモリーカード録画映像	H.264	—	—
	H.265	—	—
レコーダー配下カメラの録画映像	H.264 ^{※1}	—	—
	H.265 ^{※2}	—	—
i-PRO Remo. Service に登録したカメラのSD メモリーカード録画映像 (カメラダイレクト接続)			
i-PRO Remo. Service に登録したエッジストレージ配下カメラの録画映像 (エッジストレージ経由)	H.264	—	○
	H.265	—	○

※1 再生モードが「モバイル再生」の場合は、MJPEG、H.265 でレコーダーに録画した映像を H.264 映像として再生することができます。

※2 再生モードが「通常再生」「低負荷再生」の場合は、H.265 でレコーダーに録画した映像をH.265 映像のまま再生することができます。



- i-PRO Remo. Serviceの仕様について詳しくは、以下のウェブサイトの「仕様」→「仕様／動作環境／制限事項」を参照してください。
<https://japancs.i-pro.com/space/IWSM>
- 音声機能を使用するには、接続する機器でも音声の設定が必要です。詳しくは「音声機能を使用するには」をお読みください。

3.6 再生映像を操作する

再生映像に関する操作を行います。再生操作パネルの各ボタンをタップして操作します。

再生操作パネルは、SD メモリーカードの録画映像を再生する場合(SD 録画再生)と、レコーダーの録画映像を再生する場合(レコーダー録画再生)で表示されるボタンが異なります。

3.6.1 SD 録画再生時の再生操作パネル



ステータスバー	タップしたボタン: 再生操作パネルでタップしたボタン名
状態表示	: 再生映像の現在時刻／再生映像全体の時間
スライダーバー	再生位置を示します。スライダーバーを移動させることで、再生位置を変更することができます。
(一時停止)	再生を一時停止します。
▶ (再生)	再生を開始します。
□ (保存)	再生している映像を、動画(MP4 ファイル形式)や静止画(スナップショット)でスマートフォンへ保存することができます。操作方法など詳しくは「 3.8 再生映像をダウンロードする 」をお読みください。
🔍 (サーチ)	録画映像を日時やイベントで検索します。操作方法など詳しくは「 3.7 検索して再生する 」をお読みください。
◀◀ (逆スキップ)	1 つ前の録画映像を再生します。
⌚ (10 秒戻り)	現在再生している録画映像時刻の10 秒前に戻って再生します。
⌚ (30 秒送り)	現在再生している録画映像時刻の30 秒先に移動して再生します。
▶▶ (スキップ)	次の録画映像を再生します。

3 操作編

3.6 再生映像を操作する

3.6.2 レコーダー録画再生時の再生操作パネル



ステータスバー

タップしたボタン: 再生操作パネルでタップしたボタン名

状態表示

: 再生映像の状態

再生モードを「モバイル再生」に設定している場合

(対応機種: WJ-NV250/300、NXシリーズ、NUシリーズ)



優先項目 : 優先項目の設定値

ビットレート: ビットレート(画質)の設定値



- 再生モードや再生モードの設定方法については、「3.9 再生時の設定を切り替える」をお読みください。

◀ (逆再生)	逆順に再生します。
⏸ (一時停止)	再生映像を一時停止します。
▶ (再生)	順番に再生します。
💾 (保存)	再生している映像を、動画(MP4 ファイル形式)や静止画(スナップショット)でスマートフォンへ保存することができます。操作方法など詳しくは、「3.8 再生映像をダウンロードする」をお読みください。
⏪ (逆スキップ)	1 つ前の録画映像を再生します。

3 操作編

3.7 検索して再生する

◀◀ (高速逆再生)	タップするたびに、逆再生する速度が切り換わります。高速逆再生中に ▶ (再生)ボタン、◀ (逆再生)ボタンをタップすると、通常の再生速度に戻ります。
▶▶ (高速再生)	タップするたびに、再生する速度が切り換わります。高速再生中に ▶ (再生)ボタン、◀ (逆再生)ボタンをタップすると、通常の再生速度に戻ります。
▶▶ (スキップ)	次の録画映像を再生します。
◀◀ (逆コマ送り)	前の画像を表示したあと、一時停止します。 一時停止中にタップすると、タップするたびに前の画像が表示されます。
▶▶ (コマ送り)	次の画像を表示したあと、一時停止します。 一時停止中にタップすると、タップするたびに次の画像が表示されます。
▶▶ (最新再生)	最後に録画された映像を再生します。
🔍 (サーチ)	録画映像を検索します。操作方法など詳しくは、「 3.7 検索して再生する 」をお読みください。

3.7 検索して再生する

録画映像を日時やイベントで検索して再生します。

3.7.1 日時で検索して再生する

再生操作パネルの 🔎 (サーチ) をタップすると(3.6 再生映像を操作する)、日時を指定する画面が表示されます。



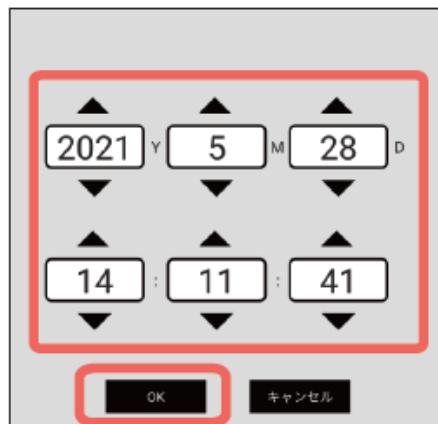
1 再生日時をタップ、または、タイムラインで日時を指定する

⇒ 再生日時をタップすると、日時を指定する画面が表示されます。

タイムラインの操作方法は「[タイムラインの操作](#)」をお読みください。

3 操作編

3.7 検索して再生する



2 日時を指定し[OK]をタップする。

⇒ 指定した日時の録画映像が再生されます。

指定した日時の録画映像がなく、指定日時以降に録画映像がある場合:

指定日時以降の最も古い録画映像から再生します。

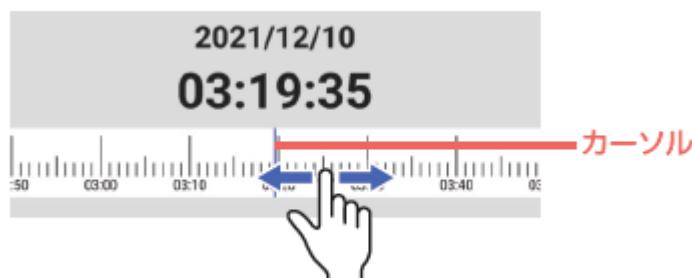
指定した日時の録画映像がなく、指定日時以降に録画映像がない場合:

指定日時以前の最新の録画映像から再生します。

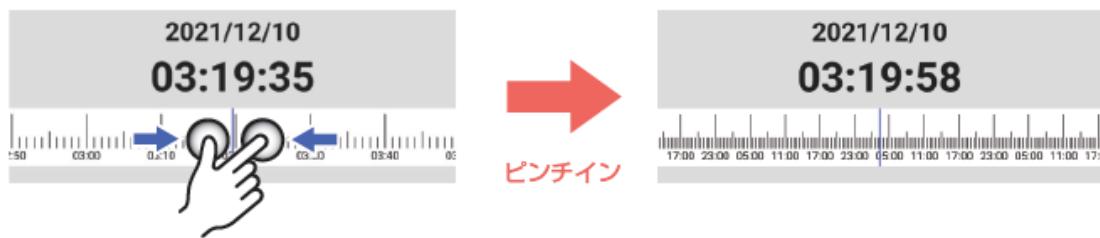
タイムラインの操作

タイムラインをスワイプ操作し、日時を指定します。

再生したい日時をカーソルにあわせ、指を離すと再生が開始されます。



ピンチインすると、タイムラインのスケール幅が拡大されます。



ピンチアウトすると、タイムラインのスケール幅が縮小されます。



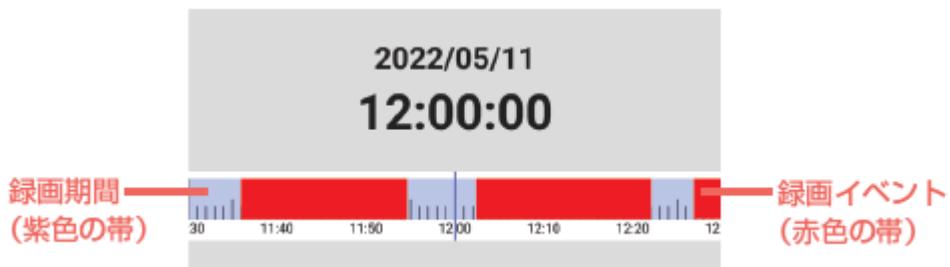
3 操作編

3.7 検索して再生する

スケール幅は72 時間／24 時間／6 時間／1 時間／10 分の5 段階で切り替わります。

i-PRO Remo. Service によるカメラの録画映像を再生する場合のタイムライン

i-PRO Remo. Service によるカメラの録画映像を再生する場合のタイムラインは以下のようになります。



3.7.2 イベントを検索して再生する

指定した検索日時範囲の録画イベントを検索して再生します。



- イベント検索は、SD 録画再生時(カメラ、WJ-SD202K(SDカードレコーダー))のみ操作できます。レコーダー録画再生やエッジストレージ再生時は検索できません。

再生操作パネルの  (サーチ) をタップすると(3.6.1 SD 録画再生時の再生操作パネル)、サーチ画面が表示されます。



- 1 [イベント]をタップする。
⇒ イベント画面が表示されます。

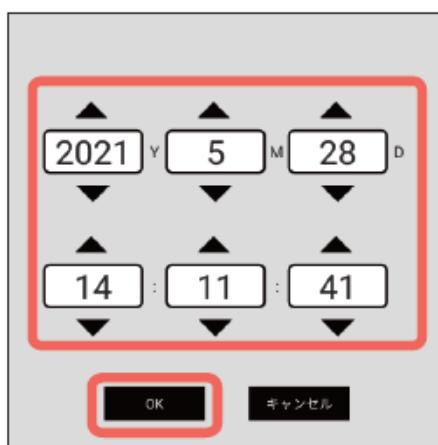
3 操作編

3.7 検索して再生する



2 検索したいイベントの開始日時と終了日時をタップする。

⇒ 日時を指定する画面が表示されます。



3 開始日時と終了日時を指定し[OK]をタップする。



4 [実行]をタップする。

⇒ 検索結果が表示されます。

5 再生したい録画映像をタップする。

⇒ 再生を開始します。

検索結果のページ操作は以下のようになります。

< (先頭ページ移動)

検索結果の最新ページ(30件のリスト)を表示します。

> (最終ページ移動)

検索結果の最終ページ(30件のリスト)を表示します。

< (前ページ移動)

前ページ(30件のリスト)を表示します。

> (次ページ移動)

次ページ(30件のリスト)を表示します。

3 操作編

3.8 再生映像をダウンロードする

3.8 再生映像をダウンロードする

カメラのSD メモリーカードに録画(SD 録画)されている映像やレコーダーに録画(レコーダー録画)されている映像、エッジストレージに録画(エッジストレージ録画)されている映像をスマートフォンにMP4 ファイル形式でダウンロードします。

3.8.1 ダウンロードの制約事項

- レコーダー録画の映像をダウンロードできるのは、NX シリーズ、NU シリーズのみです。
- SD 録画の映像をダウンロードできるのは、ダウンロードに対応するカメラのみ(Extreme シリーズ以降)です。
- 録画時の解像度やアスペクト比が以下の場合、ダウンロードできない場合があります。
 - ・アスペクト比 4:3、解像度 3072x2304 以上
 - ・アスペクト比 1:1、解像度 2192x2192 以上
 - ・アスペクト比 16:9、解像度 3072x1728 以上
- iPhone6を含む古い機種では、ダウンロードした MP4 ファイル(圧縮方式:H.265)を再生できません。
- MJPEG の映像はダウンロードができません。
- ダウンロードしたデータ容量が大きい場合、スマートフォンに保存されるまでに時間がかかる場合があります。
- 音声が G.726の場合、ダウンロードしたファイルの再生時、音声が出力されません。

3.8.2 保存先について

Android の場合

Environment.DIRECTORY_DCIM 以下の「/Camera」フォルダーに保存されます。

iOS の場合

カメラロールまたは指定のフォルダーに保存できます。

3.8.3 再生について

保存したファイルは、OS 標準の動画プレイヤーで再生することができます。

3 操作編

3.8 再生映像をダウンロードする

また、iOS で指定のフォルダーに保存した場合、ファイルを共有することで、iOS 標準の動画プレイヤー以外でも再生が可能です。

3.8.4 カメラの録画映像をダウンロードする

カメラのSD メモリーカードに録画(SD 録画)されている映像を、スマートフォンにMP4 ファイル形式でダウンロードします。

再生操作パネルの  (保存) をタップします。(3.6 再生映像を操作する)



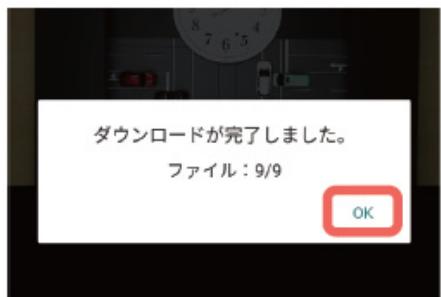
1  (ダウンロード) をタップする。

⇒ 現在再生している映像のダウンロードが始まります。

「ダウンロード中」と表示され、完了すると「ダウンロードが完了しました。」と表示されます。



● ダウンロード中はホームボタンをタップするなど、他の操作を行わないでください。ダウンロードが中断し、失敗となります。



2 [OK]をタップする。

3.8.5 レコーダーの録画映像をダウンロードする

レコーダーに録画(レコーダー録画)されている映像を、スマートフォンにMP4 ファイル形式でダウンロードします。

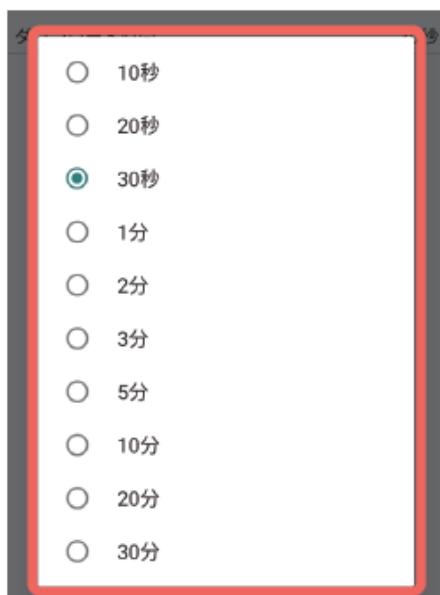
再生操作パネルの  (保存) をタップします。(3.6 再生映像を操作する)

3 操作編

3.8 再生映像をダウンロードする



1  (ダウンロード)をタップする。
⇒ ダウンロードの開始日時とダウンロードする時間を設定する画面が表示されます。

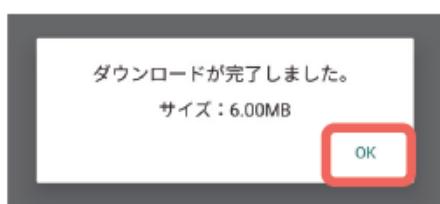


2 ダウンロードの開始時間とダウンロードする時間を設定する。

ダウンロード時間は以下から選択します。
10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分 / 2分 / 3分 / 5分 / 10分 /
20分 / 30分
初期値:30秒



3 [実行]をタップする。
⇒ 指定した録画映像のダウンロードが始まります。「ダウンロード中」と表示され、完了すると「ダウンロードが完了しました。」と表示されます。



4 [OK]をタップする。

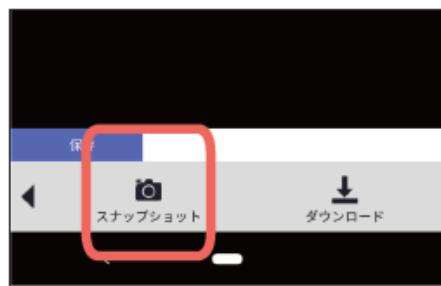
3.8.6 静止画保存する[スナップショット]

再生映像をスナップショット(静止画1枚)で取得し保存します。

再生操作パネルの  (保存)をタップします。(3.6 再生映像を操作する)

3 操作編

3.9 再生時の設定を切り替える



1  (スナップショット)をタップする。

⇒ 表示していた画像が静止画で保存されます。

3.9 再生時の設定を切り替える

WJ-NV250/300、NXシリーズ、NUシリーズの場合、再生時の設定(再生モード)として、以下の3つから設定できます。

● モバイル再生

スマートフォン対応した解像度／フレームレートに再エンコードして録画映像を再生するため、滑らかな映像で確認できます。

「モバイル再生」に設定した場合、「優先項目」と「ビットレート」を設定する必要があります。

● 通常再生

レコーダー側の録画設定(解像度、フレームレート)で再生します。

● 低負荷再生

I-Frameのみの低負荷で再生します。

再生画面の  (再生設定)をタップします。(3.5.2 再生画面について)

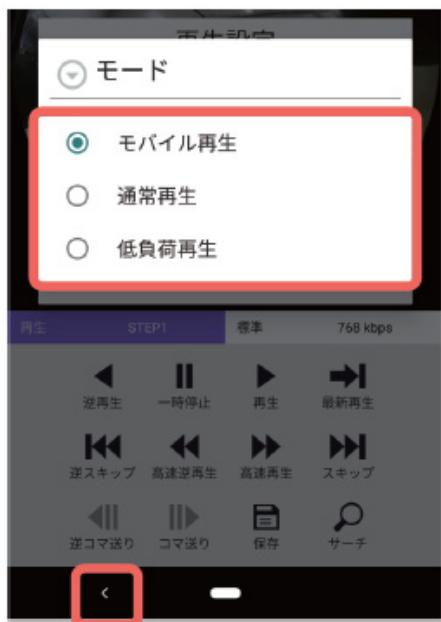


1 [モード]をタップする。

⇒ 再生モードの設定画面が表示されます。

3 操作編

3.9 再生時の設定を切り替える

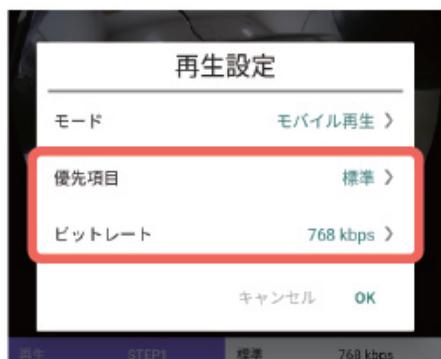


2 設定したい再生モードをタップする。

「モバイル再生」に設定する場合、手順4 以降の操作を行ってください。

3 <(戻る)をタップする。

⇒ 再生設定画面に戻ります。



4 [優先項目] / [ビットレート]をタップする。

⇒ 各項目の設定画面が表示されます。

3 操作編

3.9 再生時の設定を切り替える



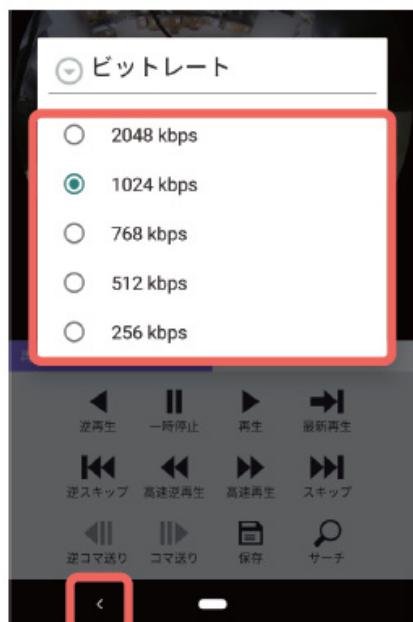
優先項目の設定画面

5 [優先項目]／[ビットレート]を設定する。

「優先項目」「ビットレート」の詳細については、「[優先項目について](#)」「[ビットレートについて](#)」をお読みください。

6 < (戻る)をタップする。

⇒ 再生設定画面に戻ります。



ビットレートの設定画面

7 設定が完了したら,[OK]をタップする。

⇒ 設定が反映されます。



3 操作編

3.10 デワープ機能を操作する

優先項目について

以下から設定します。

動き優先	被写体の動きを優先し、解像度よりもフレームレートを高めにした設定
標準(初期設定)	被写体の動きとフレームレートを標準にした設定
画質優先	被写体の画質を優先し、フレームレートよりも解像度を高めにした設定

ビットレートについて

以下から設定します。

2048 kbps / 1024 kbps / 768 kbps / 512 kbps / 256 kbps

初期設定: 768 kbps

3.10 デワープ機能を操作する

デワープ機能とは、全方位カメラの魚眼映像の補正に3D 技術を応用し、映像を回転させたり、映像を切り出してPTZ 表示したりする機能です。

本アプリでは、全方位カメラ(撮像モード:魚眼)のライブ映像、再生映像を表示中、このデワープ機能を使用することができます。

- デワープ機能が使用できるのは、全方位カメラ(撮像モード:魚眼)のみです。
- 多画面表示中はデワープ機能を使用できません。



3.10.1 PTZ 表示に切り替える

PTZ 表示したい個所(中心)をダブルタップ(またはピンチアウト)します。

3 操作編

3.10 デワープ機能を操作する



魚眼表示

ダブルタップ



PTZ 表示



魚眼表示

ピンチアウト



3.10.2 魚眼映像を回転する

回転したい方向へ円を描くようにスワイプします。



円を描くよう
スワイプ



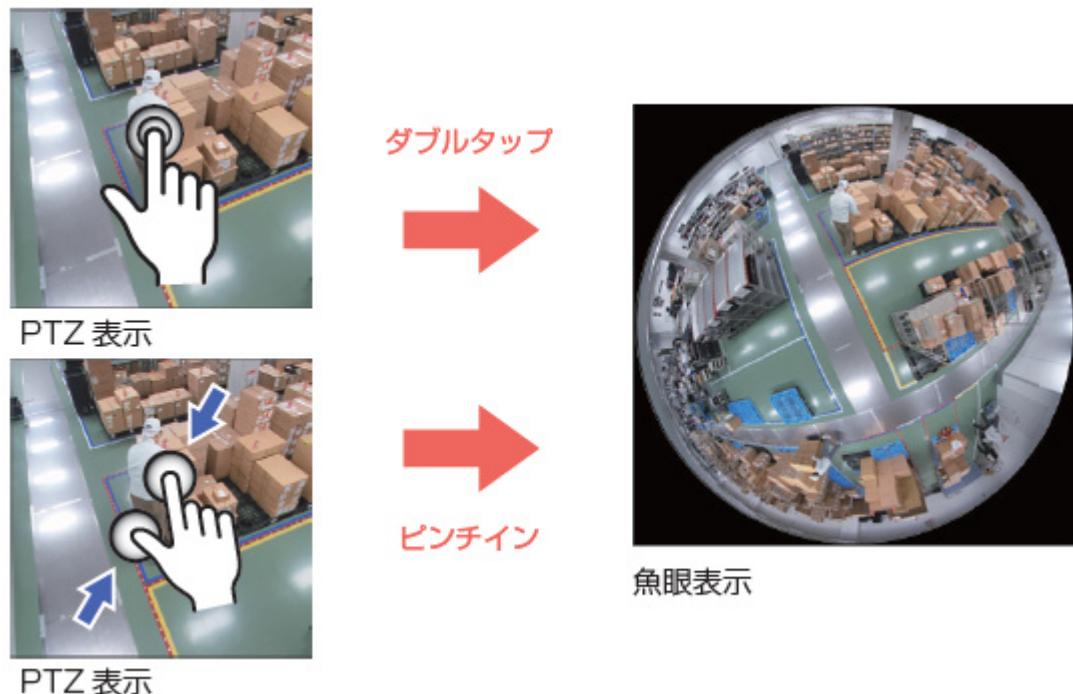
3 操作編

3.11 ダッシュボードを表示する

3.10.3 PTZ 表示から魚眼表示に戻す

画面上をダブルタップします。上下の位置を保持したまま魚眼表示になります。

また、画面上をピンチインして一定以上広範囲を表示しようとすると、自動的に魚眼表示になります。



3.11 ダッシュボードを表示する

ダッシュボード機能とは、機能拡張ソフトウェアがインストールされているカメラの場合、来店人数や滞在人数など、人数のカウント情報をグラフで確認することができる機能です。

- 本機能は「レコーダー配下カメラ」では使用することができません。
- 本機能を使用するには、カメラに機能拡張ソフトウェアをインストールし、必要な設定（ライン設定、エリア設定など）を行う必要があります。
- 機能拡張ソフトウェアについては、以下を参照してください。
 - ・本アプリが対応している機能拡張ソフトウェア一覧
https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/tools/i-pro-mobile-app
 - ・機能拡張ソフトウェアの設定方法などの詳細
https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/documentation-

3 操作編

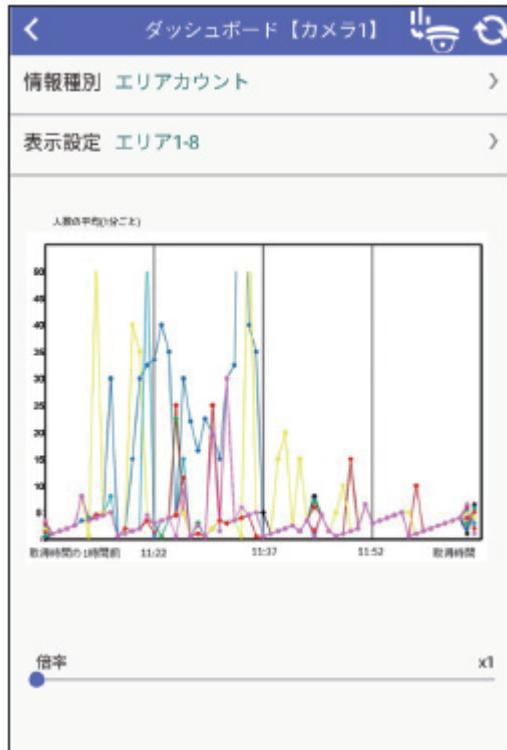
3.11 ダッシュボードを表示する

database

確認できる人数カウント情報には、以下の2種類があります。

エリアカウント

設定したエリア内に滞在している人数を確認できます。直近1時間の1分ごとの平均人数が折れ線グラフで表示されます。

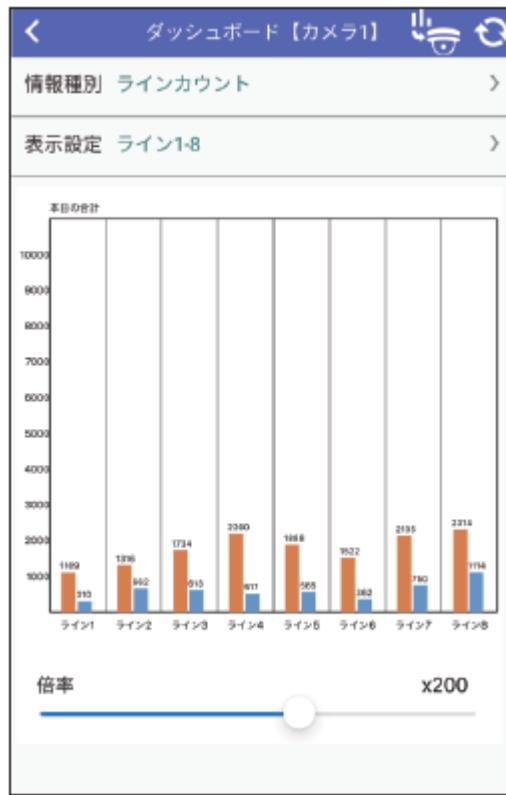


縦軸: 人数の平均(1分ごと)

横軸: 取得時間

ラインカウント

設定したラインを通過した人数を確認できます。設定したラインごとに、その日に通過した人数の合計が棒グラフで表示されます。



縦軸: 人数の合計

横軸: ライン



1 本アプリ画面下部の  (ダッシュボード) をタップする。
⇒ 選択できるカメラのリストが表示されます。

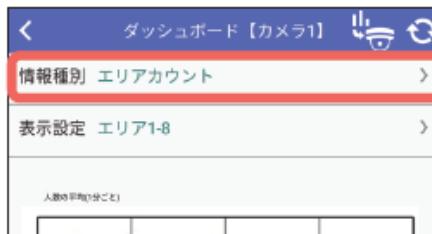
3 操作編

3.11 ダッシュボードを表示する



2 カメラをタップする。

⇒ 選択したカメラのダッシュボード画面が表示されます。



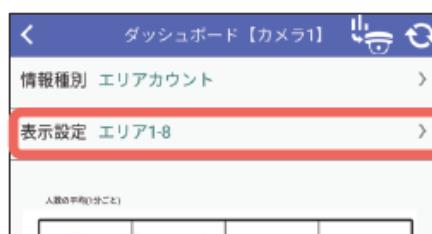
3 [情報種別]をタップする。

⇒ 情報種別の選択画面が表示されます。



4 エリアカウント／ラインカウントのどちらかを選択する。

⇒ ダッシュボード画面に戻ります。

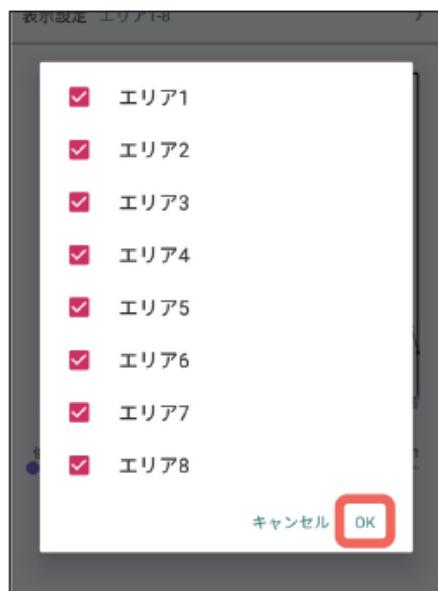


5 [表示設定]をタップする。

⇒ 表示設定の選択画面が表示されます。

3 操作編

3.11 ダッシュボードを表示する



エリアカウントの場合

6 人数カウントを確認したいエリアまたはラインを選択し、[OK]をタップする。

⇒ ダッシュボード画面に選択したエリアまたはラインの人数カウント情報がグラフで表示されます。



ラインカウントの場合

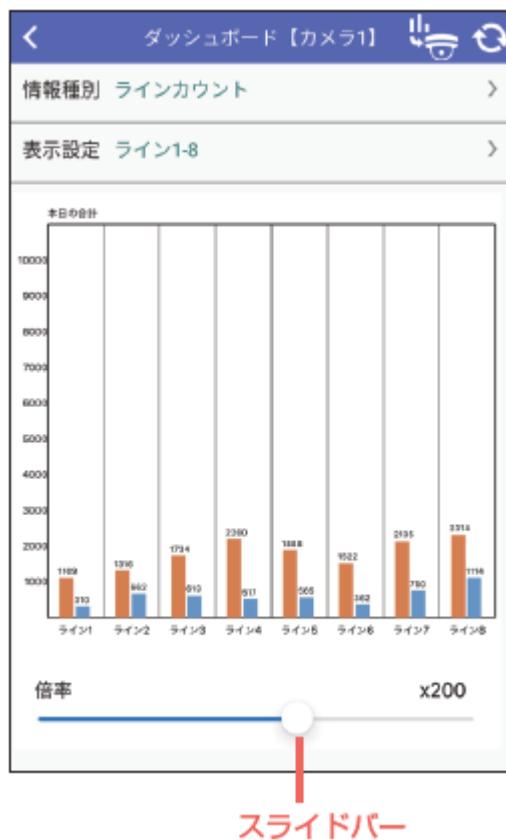
3.11.1 倍率表示について

画面下のスライドバーを動かすことで、縦軸の人数の倍率を変更することができます。

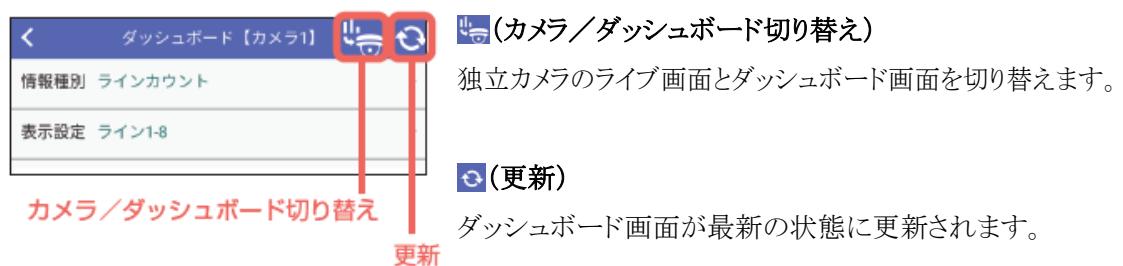
設定できる倍率:x1 / x4 / x10 / x200 / x500 / 最大値

3 操作編

3.12 ダッシュボードを表示する(i-PRO Remo. Service)



3.11.2 タイトルバーのボタンについて



3.12 ダッシュボードを表示する(i-PRO Remo. Service)

i-PRO Remo. Service でダッシュボード対応カメラとして設定されている場合、そのカメラのエリアカウント情報やラインカウント情報をグラフで確認することができます。

3 操作編

3.12 ダッシュボードを表示する(i-PRO Remo. Service)



- i-PRO Remo. Service でダッシュボード機能を利用できるカメラや機能拡張ソフトウェアの種類、設定条件については、以下のウェブサイトの「New 最新AIを無償で使える「TrAI(トライ)」の詳細は[こちら](https://japanacs.i-pro.com/space/IWSM)」を参照してください。

<https://japanacs.i-pro.com/space/IWSM>

i-PRO Remo. Service では、人数カウント情報の範囲(期間)を指定して確認することができます。範囲指定には、以下の2種類があります。

直近:直近1時間の1分ごとの平均(エリアカウント)

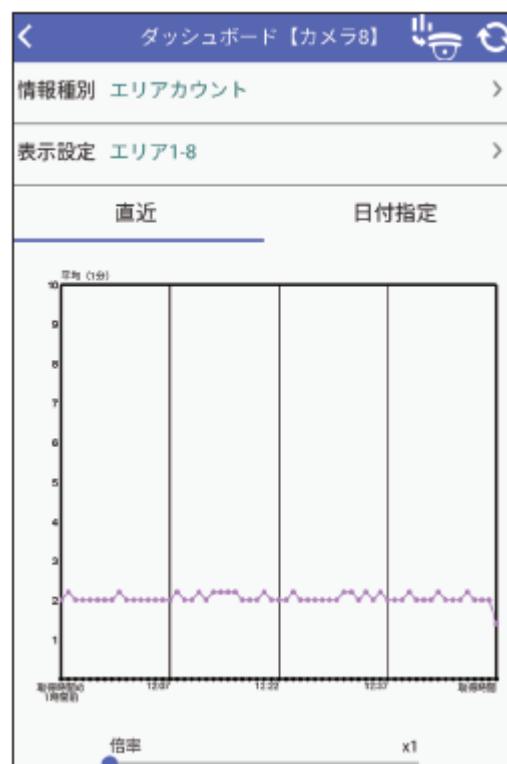
直近1時間の合計(ラインカウント)

日付指定:指定した日付の1時間ごとの平均(エリアカウント)

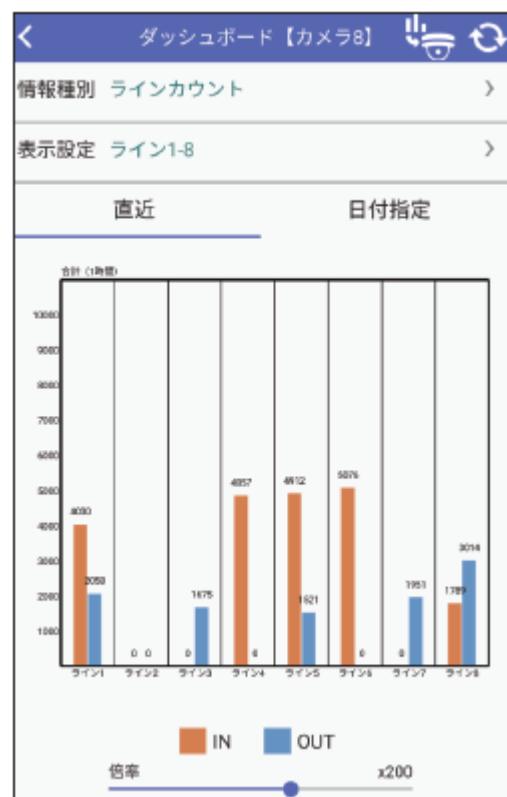
指定した日付の1日の合計(ラインカウント)

以下はエリアカウント、ラインカウントの画面例です。

エリアカウント



ラインカウント



グラフ下にある凡例はエリア1～8のそれぞれの
グラフの色とエリア名の対応を示しています。
エリア名はカメラブラウザで設定できます。

グラフ下にある凡例はライン1～8のそれぞれの
グラフの色とライン名の対応を示しています。
ライン名はカメラブラウザで設定できます。

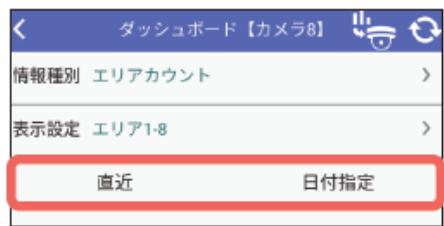
3 操作編

3.12 ダッシュボードを表示する(i-PRO Remo. Service)

1	エリア1	1	ライン1
2	エリア2	2	ライン2
3	エリア3	3	ライン3
4	エリア4	4	ライン4
5	エリア5	5	ライン5
6	エリア6	6	ライン6
7	エリア7	7	ライン7
8	エリア8	8	ライン8

3.12.1 人数カウント情報の範囲を指定する

カメラを選択して、ダッシュボード画面を表示します。(3.11 ダッシュボードを表示する)



1 [直近]または[日付指定]をタップする。

[直近]をタップした場合

直近1 時間のエリアまたはラインの人数カウント情報がグラフで表示されます。

[日付指定]をタップした場合

⇒ 現在のグラフの日付が表示されます。手順2に進みます。



2 日付をタップする。

⇒ 日付を指定する画面が表示されます。

3 操作編

3.13 アラーム通知を受信する



3 日付を指定し[OK]をタップする。

⇒ 指定した日付のエリアまたはラインの人数カウント情報がグラフで表示されます。

3.13 アラーム通知を受信する

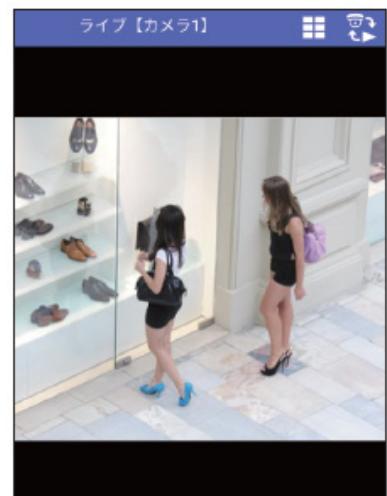
本アプリでは、あらかじめアラーム通知に関する設定を行っておくことで、カメラやレコーダー、エッジストレージからのアラーム通知を受信することができます。

アラーム通知はスマートフォン・タブレットにポップアップ表示され、ポップアップ表示をタップすると、アラームが発生したカメラのライブ映像を確認することができます。



※画面は一例です。

画面をタップ



カメラのアラーム映像（ライブ）



- ポップアップの表示内容やサムネイル画像の操作方法は、お使いのモバイル端末によって異なる場合があります。



- i-PRO Remo. Serviceの場合は、Web サービス設定([4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う\[Web サービス設定\]](#))を完了するとアラームを受信できます。
- モバイル通知ツールからのアラーム通知を受信するには、あらかじめ以下の設定が必要です。
 - ・アラーム通知に関する設定([4.6 アラーム通知に関する設定を行う\[通知設定\]](#))
 - ・モバイル通知ツールの設定

※モバイル通知ツール:アラーム通知を本アプリに送信するためのPC ソフトウェアツールです。アラーム通知を受信するためにはこのツールをPC にインストールする必要があります。
- アラーム通知に関する操作や設定、モバイル通知ツールについて詳しくは、以下のウェブサイトを参照してください。
https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/tools/i-pro-mobile-app/i-pro-mobile-notification-tool
- アラーム通知のポップアップ表示をタップして、アラームが発生したカメラのライブ映像を表示するには、機器情報を登録する必要があります。
([4.6.4 機器情報を取得する](#))

3.13.1 アラーム情報(ポップアップ表示)について

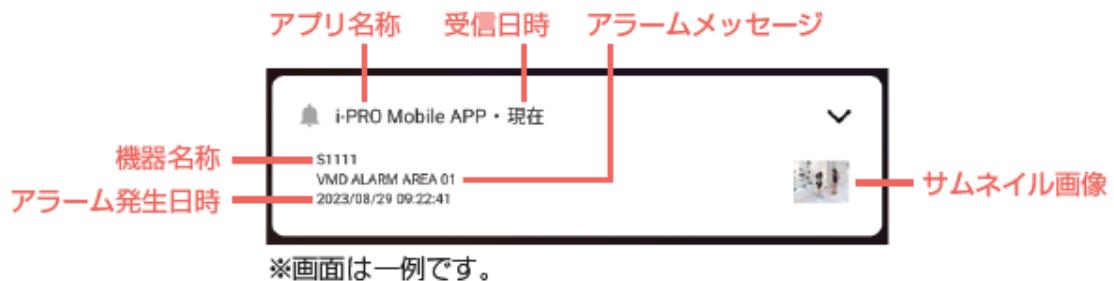
アラーム通知を受信すると、アラーム情報が以下のようなポップアップ画面で表示されます。



- 以下の画面は一例です。お使いのモバイル端末によって、ポップアップ表示内容が異なる場合があります。

3 操作編

3.13 アラーム通知を受信する



アプリ名称	アプリ名称「i-PRO Mobile APP」を表示します。
受信日時	アラームを受信した日時を表示します。
機器名称	アラーム通知元の機器(カメラ/レコーダー)の名称を表示します。 機器情報が取得できていない場合には、機器のIPアドレスが表示されます。
アラームメッセージ	アラーム通知のメッセージを表示します。
アラーム発生日時	機器(カメラ/レコーダー)でアラームが発生した日時を表示します。
サムネイル画像	サムネイル画像が表示されます。サムネイル画像の設定(表示/非表示など)については、モバイル通知ツールの設定・操作ガイドを参照してください。 また、サムネイル画像は拡大/縮小表示することもできます。 (3.13.2 サムネイル画像を拡大/縮小表示する)

3.13.2 サムネイル画像を拡大/縮小表示する

ポップアップ画面にサムネイル画像が表示されている場合、サムネイル画像を拡大(オープン)／縮小(クローズ)表示することができます。

- ポップアップの表示内容やサムネイル画像の操作方法は、お使いのモバイル端末によって異なる場合があります。



3 操作編

3.13 アラーム通知を受信する



拡大表示（オープン表示）で画面をタップ、または[ライブ表示]をタップすると、アラームが発生したカメラのライブ映像を確認することができます。(3.13 アラーム通知を受信する)

3.13.3 アラームの通知履歴を確認する

受信したアラームの通知履歴を最新100件分まで確認できます。



1 本アプリ画面下部の  (履歴)をタップする。
⇒ 通知履歴画面が表示されます。

3 操作編

3.13 アラーム通知を受信する



2 最新100件分のアラーム通知の履歴が表示されます。

1 画面で20件分の履歴が表示されます。

通知履歴画面のページ操作は以下のようになります。

⟳ (更新)

最新の情報に更新します。

◀ (先頭ページ移動)

最新ページ(20件のリスト)を表示します。

▶ (最終ページ移動)

最終ページ(20件のリスト)を表示します。

◀ (前ページ移動)

前ページ(20件のリスト)を表示します。

▶ (次ページ移動)

次ページ(20件のリスト)を表示します。

3.13.4 アラームの通知履歴から録画映像を再生する

アラームの通知履歴画面からアラーム通知を選択して、録画映像を再生できます。

アラームの通知履歴画面から録画映像を再生できるのは、i-PRO Remo. Service からのアラーム通知のみです。

3 操作編

3.14 フォルダー選択画面からカメラを選択する(i-PRO Remo. Service 連携)



1 閲覧したい通知履歴をタップする。

⇒ 再生画面が表示されます。

再生画面については、「[3.5.2 再生画面について](#)」をお読みください。

3.14 フォルダー選択画面からカメラを選択する(i-PRO Remo. Service 連携)

i-PRO Remo. Service でフォルダーを作成している場合、フォルダー選択画面からカメラを選択してライブ映像を閲覧したり、録画映像を再生することができます。

- 本機能は、あらかじめ Web ブラウザからフォルダー設定しておく必要があります。本アプリではフォルダー設定はできません。
- フォルダー選択画面を表示するには、以下の条件を満たす必要があります。
 - ・「接続先種別」が「i-PRO Remo. Service」に設定されていること([2.2.1 設定項目一覧](#))
 - ・2つ以上のフォルダーを選択できるユーザーでログインすること
- Web ブラウザの操作は以下のウェブサイトの「設定」→「フォルダー作成画面」を参照してください。

<https://japancs.i-pro.com/space/IWSM>

3 操作編

3.14 フォルダー選択画面からカメラを選択する(i-PRO Remo. Service 連携)

3.14.1 フォルダーを選択する

本アプリを起動すると、フォルダー選択画面が表示されます。



1 閲覧したいフォルダーネ名をタップする。

選択したフォルダーの階層下にフォルダーがある場合
選択したフォルダーの階層下のフォルダーが一覧表示さ
れます。同様にフォルダーをタップします。

選択したフォルダーの階層下にフォルダーが無い場合
カメラリスト画面が表示されます。

※画面は一例です。



- フォルダーネ名はWeb ブラウザで設定した名称です。
- 1 つ上の階層のフォルダーを表示したい場合は < をタップします。
- フォルダー選択画面からフォルダーを選択すると、次回のアプリ起動時、その
フォルダー内のカメラリスト画面が自動的に表示されます。

3.14.2 カメラリスト画面でフォルダーを変更する

カメラリスト画面の下部にフォルダー選択ボタンが表示されます。

3 操作編

3.14 フォルダー選択画面からカメラを選択する(i-PRO Remo. Service 連携)



[A支店 <]: 1つ前のフォルダーネ名です。タップすると、そのフォルダー内のカメラリスト画面が表示されます。

[B支店]: 現在表示されているフォルダーネ名です。タップすると、フォルダー選択画面が表示されます。

[> C支店]: 1つ後ろのフォルダーネ名です。タップすると、そのフォルダー内のカメラリスト画面が表示されます。

※画面は一例です。

3.14.3 カメラリスト画面で表示するページを切り替える

i-PRO Remo. Service でフォルダーに41台以上のカメラがある場合、カメラリスト画面の下部にページ送りボタンが表示されます。

このボタンをタップすると、カメラリストに表示するカメラを切替えることができます。

- 1つのフォルダーあたり160台までカメラを表示することができます。



3 操作編

3.15 お気に入りからカメラを選択する(i-PRO Remo. Service 連携)



3.15 お気に入りからカメラを選択する(i-PRO Remo. Service 連携)

i-PRO Remo. Service でお気に入りのグループを作成している場合、本アプリでお気に入りを選択して、グループ内のカメラのライブ映像を閲覧したり、録画映像を再生することができます。

- 本機能は、あらかじめ Web ブラウザからお気に入りのグループを作成しておく必要があります。本アプリではお気に入りのグループを作成することはできません。
- お気に入りのグループ内のカメラを選択するには、「接続先種別」が「i-PRO Remo. Service」に設定されている必要があります。(2.2.1 設定項目一覧)
- Web ブラウザの操作は、以下のウェブサイトの「ユーザーportal画面操作」→「お気に入り設定」を参照してください。
<https://japancs.i-pro.com/space/IWSM>

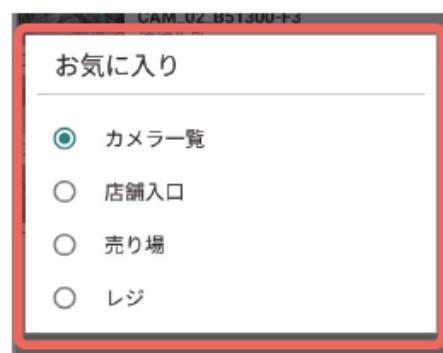
カメラのライブ画面や再生画面でお気に入りを選択します。

3 操作編

3.15 お気に入りからカメラを選択する(i-PRO Remo. Service 連携)



1 ドロップダウンリストから「お気に入り」を選択する。
⇒ お気に入りに登録されたグループが表示されます。



2 グループを選択する。
⇒ グループ内のカメラリスト画面が表示されます。



- グループ名は Web ブラウザで設定した名称です。
- お気に入りを選択すると、次回のアプリ起動時、そのお気に入りのカメラリスト画面が自動的に表示されます。



3 ライブ映像や録画映像を確認したいカメラをタップする。

4 設定編

4.1 各種設定をする

4 設定編

4.1 各種設定をする

機器や表示、音声に関する設定を行います。

カメラリスト画面の下にある  (設定)をタップします。(3.1.1 カメラリスト画面(ライブ)について、3.5.1 カメラリスト画面(再生)について)



1 各種設定をタップする。

機器設定

本アプリと接続するカメラやレコーダーなど機器に関する設定を行います。



- 機器登録画面の「接続先種別」で「i-PRO Remo. Service」を設定すると、Webサービス登録画面が表示されます。

(4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定])

Web サービス設定

i-PRO Remo. Service に関する設定を行います。(4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定])

簡単設定

二次元コードの読み取りに対応したカメラの初

詳細設定

以下の設定を行います。

- カメラのインターネットモードの設定(4.7 インターネットモードを設定する[詳細設定])
- カメラリスト画面(再生)でカメラを選択した際に表示される画面の設定(再生画面の初期設定) (4.8 再生画面の初期表示設

期設定を行います。

表示設定

カメラタイトル、日時、多画面、画面カラーの表示に関する設定を行います。(4.4 表示に関する設定を行う[表示設定])

また、カメラ操作パネルにあるAUX 制御の [Open]ボタン、[Close]ボタンの名称を変更することができます。(4.4.7 AUX 名称を設定する[AUX 名称])

音声設定

受話設定を行います。(4.5 音声に関する設定を行う[音声設定])

通知設定

アラーム通知に関する設定を行います。(4.6 アラーム通知に関する設定を行う[通知設定])

定を行う[詳細設定])

- H.264とH.265 映像表示に使用するデコーダーの切り替え(H.264/H.265 デコーダー切替)(4.9 H.264 とH.265 映像表示に使用するデコーダーを切り替える[H.264/H.265 デコーダー切替])
※ Androidのみ

設定データの保存／読み込み

本アプリで設定した情報のバックアップを設定ファイルとしてモバイル端末に保存します。また、保存した設定ファイルを読み込みます。(4.11 設定データを保存する[設定データの保存／読み込み]、4.12 設定データを読み込む[設定データの保存／読み込み])

4.2 機器を設定する[機器設定]

本アプリと接続するカメラやレコーダーなど機器に関する設定を行います。

機器の登録／追加については、「2.2 機器情報を登録する」をお読みください。

ここでは、機器表示順の並び替え、機器の設定情報のコピー、機器の登録情報の変更、削除について説明します。

4.2.1 機器の表示順を並び替える

設定画面で「機器設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)

4 設定編

4.2 機器を設定する[機器設定]



1 (並び替え)をタップする。

⇒ 機器名の右にある が に変わり、機器の並び替えができる状態になります。



2 をロングタップ※して移動し、並び替える。

※ロングタップ:タップした指を画面から離さないでタップしたままでいること

3 並び替えが完了したら、 (終了)をタップする。



4 設定編

4.2 機器を設定する[機器設定]

4.2.2 機器の設定情報を変更する

設定画面で「機器設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)



1 設定情報を変更したい機器名の右にある をタップする。

⇒ 機器登録画面が表示されます。各項目、操作方法については、「2.2 機器情報を登録する」をお読みください。



4.2.3 機器の設定情報をコピーする

複数の機器を登録する場合など、すでに登録済みの機器設定情報をコピーすることで、機器の追加登録が簡単に行えます。

4 設定編

4.2 機器を設定する[機器設定]

設定画面で「機器設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)



1 設定情報をコピーしたい機器名の右にある  をタップする。

⇒ 機器登録画面が表示されます。各項目、操作方法については、「2.2 機器情報を登録する」をお読みください。



2 「機器設定コピー」をタップする。

⇒ 確認画面が表示され[OK]をタップすると、選択した機器の設定情報がコピーされ、コピーされた機器情報の登録画面が表示されます。

4 設定編

4.2 機器を設定する[機器設定]



3 機器情報を編集する。

⇒ 各項目、操作方法については、「[2.2 機器情報を登録する](#)」をお読みください。

4 [登録]をタップする。

⇒ 確認画面が表示され[OK]をタップすると、機器情報が登録されます。

4.2.4 機器を削除する

設定画面で「機器設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)



1 削除したい機器名の右にある ➤ をタップする。

⇒ 機器登録画面が表示されます。

4 設定編

4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定]



2 [機器削除]をタップする。

⇒ 確認画面が表示され、「OK」をタップすると、選択した機器が削除されます。

4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定]

4.3.1 Web サービスを選択する

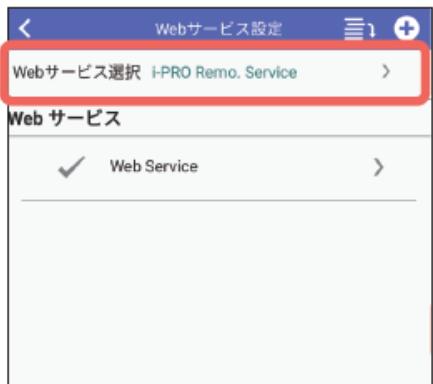
Web サービス選択の設定状態を確認したり、変更することができます。

設定画面で「Web サービス設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)

Web サービス設定画面が表示され、現在設定されているWeb サービスが確認できます。

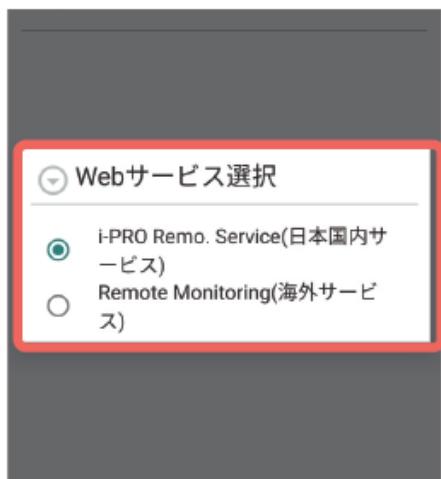
4 設定編

4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定]



1 [Web サービス選択]をタップする。

⇒ Web サービス選択画面が表示されます。



2 利用するWeb サービスを選択します。



- 日本国内サービスを利用する場合、「i-PRO Remo. Service(日本国内サービス)」が選択されていることを確認してください。
- 機器設定画面(4.2 機器を設定する[機器設定])や、Web サービス設定画面で表示されるWeb サービスのアカウントは、ここで選択中のWeb サービスに登録したアカウントです。

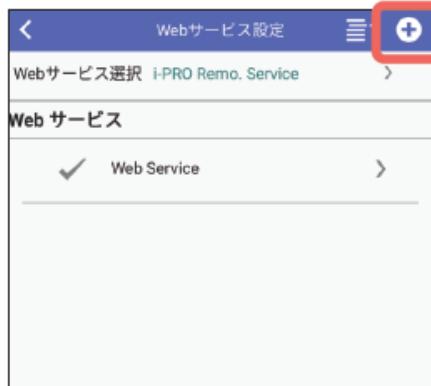
4.3.2 i-PRO Remo. Service を登録する

本アプリにi-PRO Remo. Service を登録します。

設定画面で「Web サービス設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)

4 設定編

4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定]



1 **+**(新規登録)をタップする。

⇒ Web サービス登録画面が表示されます。



2 登録情報を編集する。

⇒ 各項目については、「[2.2.1 設定項目一覧](#)」をお読みください。

3 [登録]をタップする。

⇒ 確認画面が表示され[OK]をタップすると、Web サービスの設定情報が登録されます。

● 「接続先種別」は変更できません。



4.3.3 2段階認証について

i-PRO Remo. Serviceで、アカウントに対し2段階認証が設定されていると、認証コード(6桁)の入力が必要になります。認証方法には、認証アプリを使用する方法と、メールで認証コードを取得する方法の2種類があります。

ここでは、各認証方法の手順について説明します。

4 設定編

4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定]



- 2段階認証の設定(なし／アプリ認証／メール認証)は、本アプリで行うことはできません。i-PRO Remo. ServiceのWebブラウザで設定する必要があります。

認証アプリを使用する

認証コードの入力画面が表示されたら、以下を操作します。



- 1 [認証アプリを起動]をタップする。

⇒ 起動する認証アプリを選択する画面が表示されます。

- 2 認証アプリを選択する。

⇒ 選択した認証アプリの画面に6桁の認証コードが表示されます。



- 認証アプリが無い場合、認証アプリを選択することでアプリストアのインストール画面に移動します。

4 設定編

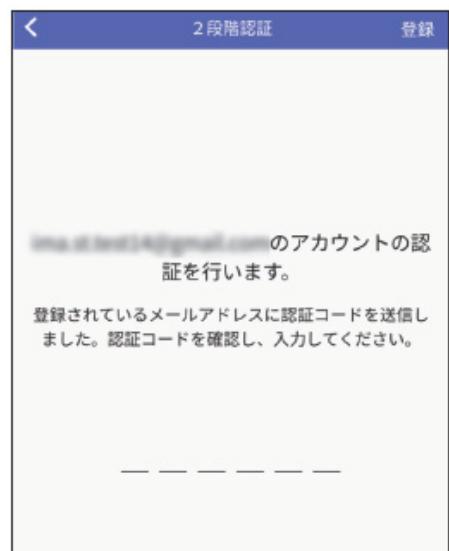
4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定]



3 表示された認証コードを入力し、[登録]をタップする。

メールで認証コードを取得し認証を行う

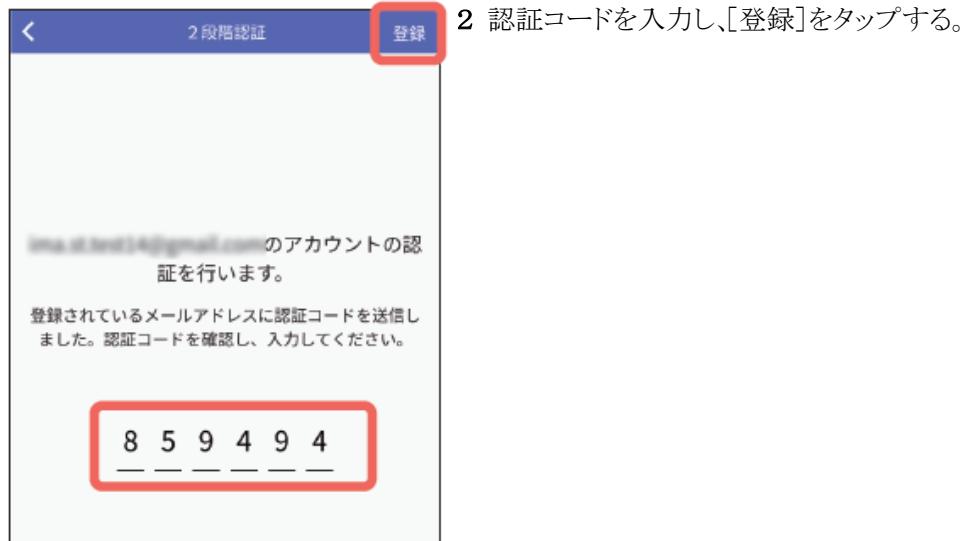
認証コードの入力画面が表示されたら、以下を操作します。



1 メールに送られてきた6桁の認証コードを確認する。
i-PRO Remo. Service で設定したメールアドレスに送付された認証コードを確認します。

4 設定編

4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定]



4.3.4 i-PRO Remo. Service から通知するイベントの種別を選択する

i-PRO Remo. Service から通知を受けるイベントの種別を設定します。

Web サービス設定画面で「Web サービス」をタップします。(4.3.2 i-PRO Remo. Service を登録する)



4 設定編

4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定]



2 [イベント通知設定]をタップする。
⇒ イベント通知設定画面が表示されます。



3 [通知するイベント設定]をタップする。
⇒ 通知するイベント設定画面が表示されます。



4 通知するイベントを選択する。

通知するイベントをタップしてチェックを入れます。

[全選択]:すべてのイベントが選択されます。

[全解除]:すべてのイベントの選択が解除されます。

5 [変更]をタップする。

⇒ 確認画面が表示され[OK]をタップすると、通知するイベントが登録されます。

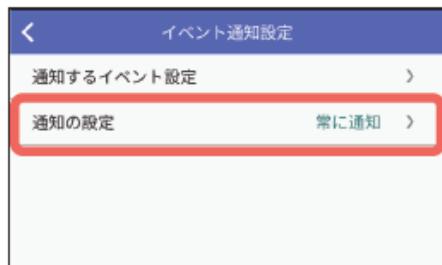
4.3.5 i-PRO Remo. Service から通知するイベントのスケジュールを設定する

i-PRO Remo. Service から通知を受けるイベントのスケジュールを設定します。

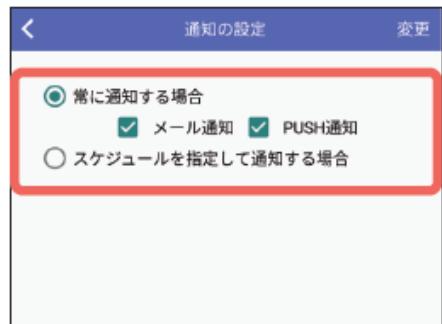
Web サービス登録画面で[イベント通知設定]をタップします。(4.3.4 i-PRO Remo. Service から通知するイベントの種別を選択する)

4 設定編

4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定]



1 [通知の設定]をタップする。
⇒ 通知の設定画面が表示されます。



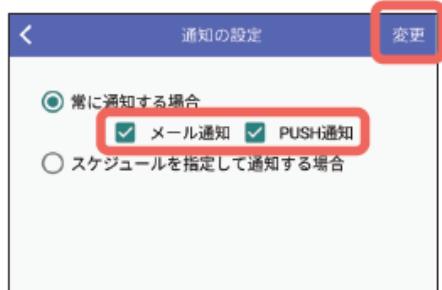
2 通知スケジュールを選択する。

常に通知する場合:

イベント発生時、常に通知します。
以降、手順3 へ

スケジュールを指定して通知する場合:

通知するスケジュールを設定します。
以降、手順4 へ



「常に通知する場合」を選択する

3 通知の種類(メール通知／PUSH 通知)を選択し、[変更]をタップする。

メール通知:発生したイベント情報をメールで通知します。

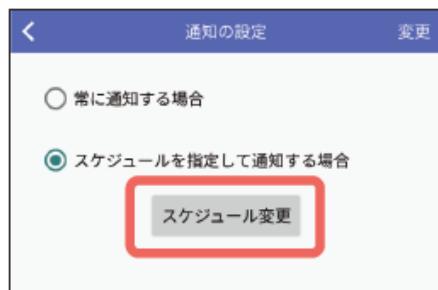
メールの通知先の設定やメールの通知内容について、Webブラウザから確認してください。

PUSH通知 :発生したイベント情報がポップアップ画面で表示されます。ポップアップ画面の詳細については、「[3.13.1 アラーム情報\(ポップアップ表示\)について](#)」をお読みください。

⇒ 確認画面が表示され[OK]をタップすると、通知スケジュールが設定されます。

4 設定編

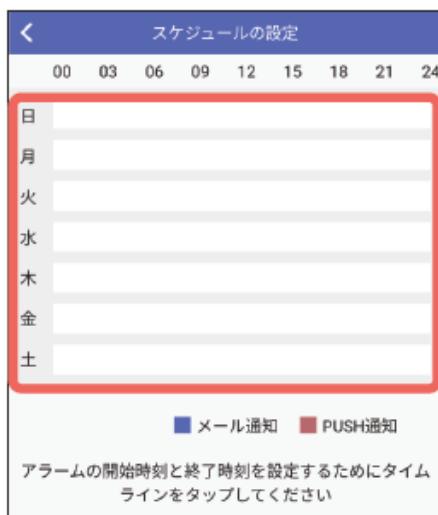
4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定]



「スケジュールを指定して通知する場合」を選択する

4 [スケジュール変更]をタップする。

⇒ スケジュールの設定画面が表示されます。



5 設定したい曜日のタイムラインをタップする。

⇒ 設定画面が表示されます。



6 通知の種類(メール通知／PUSH通知)をタップする。

メール通知、PUSH通知については手順3をお読みください。

7 開始時刻、終了時刻をタップする。

⇒ 時刻を設定する画面が表示されます。

4 設定編

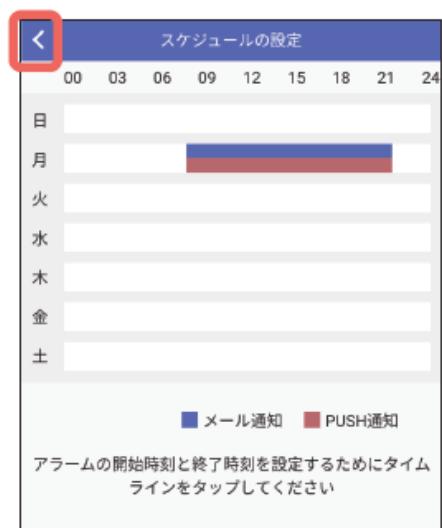
4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定]



8 開始時刻と終了時刻を指定し[OK]をタップする。

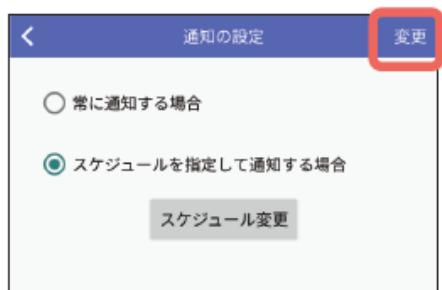
⇒ スケジュールの設定画面に戻ります。

他の曜日を設定する場合、手順5～8を繰り返します。



9 <(戻る)をタップする。

⇒ 通知の設定画面に戻ります。



10 [変更]をタップする。

⇒ 確認画面が表示され[OK]をタップすると、通知スケジュールが設定されます。

4 設定編

4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定]

4.3.6 i-PRO Remo. Service にカメラを登録する

i-PRO Remo. Service を使って本アプリでカメラのライブ映像などを閲覧するには、カメラをi-PRO Remo. Service に登録する必要があります。

登録はi-PRO Remo. Service のWeb ブラウザからも行うことができます。

Web ブラウザから操作した場合、本アプリによる登録は不要です。

Web ブラウザの操作は、以下のウェブサイトの「導入ガイド」→「導入」→「STEP 3 取付・キッティング・調整」→「キッティング(機器の接続設定)」を参照してください。

<https://japancs.i-pro.com/space/IWSM>



- i-PRO Remo. Serviceを使って本アプリでカメラのライブ映像などを閲覧するには、カメラがi-PRO Remo. Service に対応している必要があります。
対応カメラ一覧は、以下のウェブサイトの「仕様」→「対応カメラ情報」を参照してください。
<https://japancs.i-pro.com/space/IWSM>
- レコーダーやエッジストレージに登録されているカメラは、本アプリから登録することはできません。
- カメラをフォルダーに分けて設定する場合はWebブラウザから操作してください。

Web サービス設定画面で「Web サービス」をタップします。(4.3.2 i-PRO Remo. Service を登録する)



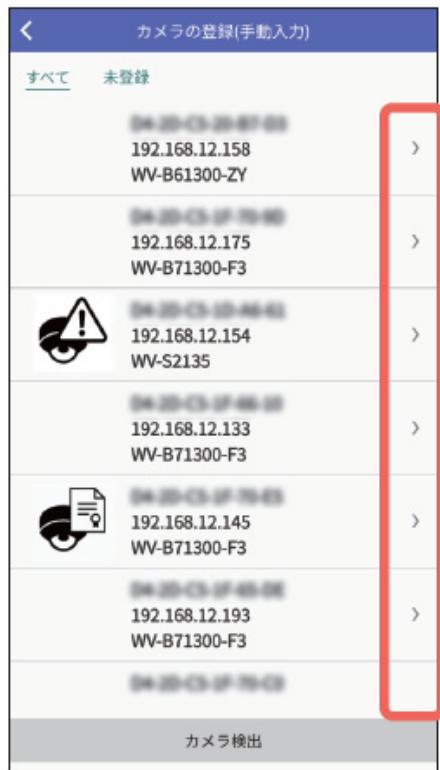
1 カメラを登録するサービス名の右にある をタップする。
⇒ Web サービス登録画面が表示されます。



2 [カメラの登録(手動入力)]をタップする。
⇒ 同一ネットワーク内のカメラの検出が開始されます。
検出が完了すると、検出されたカメラがリストで表示されます。

4 設定編

4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定]



3 登録するカメラの右にある をタップする。

⇒ カメラの登録画面が表示されます。

検出結果のページ操作は以下のようになります。

[すべて]

検出したカメラをすべて表示します。

[未登録]

選択したWeb サービスに登録されていないカメラを表示します。

[カメラ検出]

カメラを再検出します。

ページ内のアイコンやカメラ情報の詳細については、「[カメラ情報、アイコンについて](#)」をお読みください。



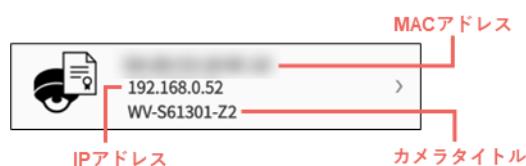
4 カメラの管理者ユーザー名、パスワードを入力する。

アドレス、ポート番号、SSL 通信は選択したカメラの設定を表示しており、この画面で変更はできません。

5 [登録]をタップする。

⇒ 確認画面が表示され[OK]をタップすると、カメラが登録されます。

カメラ情報、アイコンについて



4 設定編

4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定]

	すでにi-PRO Remo. Service に登録されており、ライセンスが割り当てられていることを示しています。
	すでにi-PRO Remo. Service に登録されているが、ライセンスが割り当てられていないことを示しています。Web ブラウザからライセンスの割り当てを行ってください。 Web ブラウザの操作は、以下のサイトの「設定」→「ライセンス管理」を参照してください。 https://japancs.i-pro.com/space/IWSM
アイコン無し	選択したWeb サービスに登録されていないことを示しています。

4.3.7 i-PRO Remo. Service にエッジストレージを登録する

エッジストレージに添付されている二次元コードを読み取ることで、エッジストレージをi-PRO Remo. Service に登録することができます。

機能の詳細や操作手順など詳しくは、以下のウェブサイトの「導入ガイド」を参照してください。

<https://japancs.i-pro.com/space/IWSM>

4.3.8 i-PRO Remo. Service の登録を解除する

Web サービス設定画面で「Web サービス」をタップします。(4.3.2 i-PRO Remo. Service を登録する)



1 解除したいサービス名の右にある  をタップする。
⇒ Web サービス登録画面が表示されます。

4 設定編

4.4 表示に関する設定を行う[表示設定]



2 [サービスの登録解除]ボタンをタップする。

⇒ 確認画面が表示され、「OK」をタップすると、Web サービスの登録が解除されます。

4.4 表示に関する設定を行う[表示設定]

カメラタイトル、日時、多画面、画面カラーの表示、AUX 名称に関する設定を行います。

4.4.1 タイトル表示を設定する[タイトル表示設定]

ライブ画面、多画面表示、再生画面のカメラタイトルの表示位置を設定します。

設定画面で「表示設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)

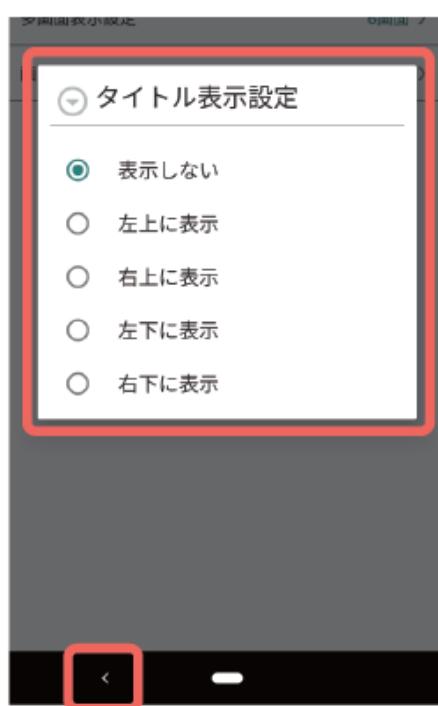
4 設定編

4.4 表示に関する設定を行う[表示設定]



1 [タイトル表示設定]をタップする。

⇒ 設定画面が表示されます。



2 表示位置を設定する。

表示しない: カメラタイトルを表示しません

左上に表示: 画面の左上に表示します

右上に表示: 画面の右上に表示します

左下に表示: 画面の左下に表示します

右下に表示: 画面の右下に表示します

3 [戻る]をタップする。

⇒ 設定が反映されます。

4.4.2 日時表示位置を設定する[日時表示位置設定]

再生画面の再生日時の表示位置を設定します。

- カメラのSD 録画再生では、再生日時を表示できません。
- ライブ映像(カメラ、レコーダーとも)では日時表示されません。



設定画面で「表示設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)

4 設定編

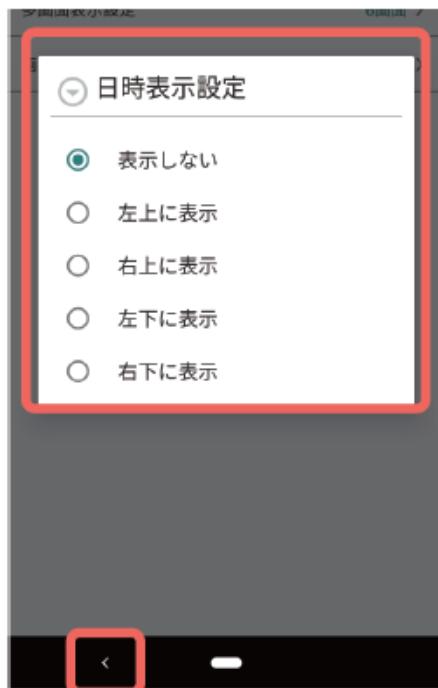
4.4 表示に関する設定を行う[表示設定]



1 [日時表示設定]をタップする。
⇒ 日時表示設定画面が表示されます。



2 [日時表示位置設定]をタップする。
⇒ 設定画面が表示されます。



3 表示位置を設定する。

表示しない: 再生日時を表示しません
左上に表示: 画面の左上に表示します
右上に表示: 画面の右上に表示します
左下に表示: 画面の左下に表示します
右下に表示: 画面の右下に表示します

4 [戻る]をタップする。
⇒ 設定が反映されます。

4.4.3 日時表示形式を設定する[日時表示形式設定]

再生画面の再生日時の表示形式(年月日表示、24 時間／12 時間表示)を設定します。

4 設定編

4.4 表示に関する設定を行う[表示設定]



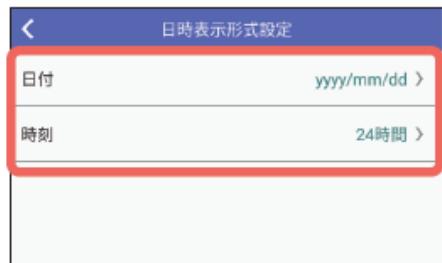
- カメラのSD 録画再生では、再生日時を表示できません。
- ライブ映像(カメラ、レコーダーとも)では日時表示されません。

表示設定画面で[日時表示設定]をタップします。(4.4.2 日時表示位置を設定する[日時表示位置設定])



1 [日時表示形式設定]をタップする。

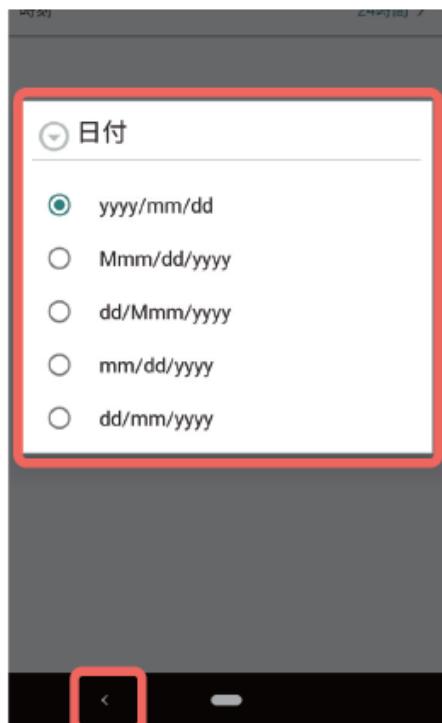
⇒ 設定画面が表示されます。



2 [日付]または[時刻]をタップする。

⇒ 設定画面が表示されます。

年月日の表示形式を選択する場合は手順3へ
時刻の表示形式を選択する場合は手順5へ



年月日の表示形式を選択する場合

3 年月日の表示形式を選択する。

例:2023年11月1日の場合

yyyy/mm/dd : 2023/11/01

Mmm/dd/yyyy : Nov/01/2023

dd/Mmm/yyyy : 01/Nov/2023

mm/dd/yyyy : 11/01/2023

dd/mm/yyyy : 01/11/2023

4 □(戻る)をタップする。

⇒ 設定が反映されます。

4 設定編

4.4 表示に関する設定を行う[表示設定]



時刻の表示形式を選択する場合

5 時刻の表示形式(24 時間／12 時間)を選択する。

例: 15 時の場合

24 時間: 15:00:00

12 時間: 午後03:00:00

6 □(戻る)をタップする。

⇒ 設定が反映されます。

4.4.4 多画面表示を設定する[多画面表示設定]

ライブ映像の多画面表示時の画面数(6画面／8画面／9画面／16画面)を設定します。

設定画面で「表示設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)



1 [多画面表示設定]をタップする。

⇒ 設定画面が表示されます。

4 設定編

4.4 表示に関する設定を行う[表示設定]



2 画面数を設定する。

- 6 画面 : 6 台のカメラを表示します
- 8 画面 : 8 台のカメラを表示します
- 9 画面 : 9 台のカメラを表示します
- 16 画面 : 16 台のカメラを表示します

3 □(戻る)をタップする。

⇒ 設定が反映されます。

4.4.5 多画面の画像表示を設定する[多画面画像表示設定]

多画面表示の画像表示(アスペクト比／拡大縮小／クロッピング)を設定します。

設定画面で「表示設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)

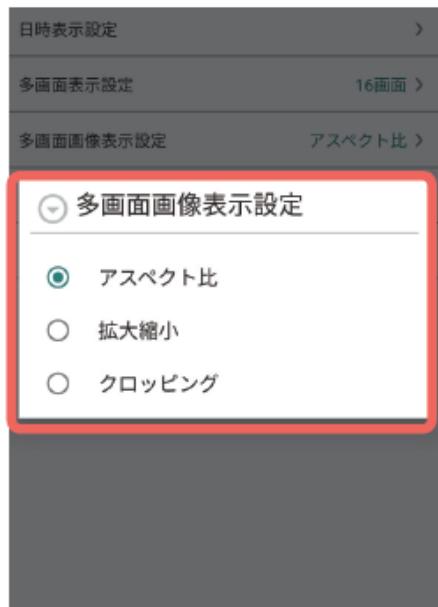


1 [多画面画像表示設定]をタップする。

⇒ 設定画面が表示されます。

4 設定編

4.4 表示に関する設定を行う[表示設定]



2 画像表示を設定する。

アスペクト比: 画像の縦横比を維持して表示します。各領域の上下または左右が空白になります。
拡大縮小 : 各領域いっぱいに拡大／縮小して表示します。

クロッピング: 各領域にあわせて、カメラ映像の中央部を切り出して表示します。

3 □(戻る)をタップする。

⇒ 設定が反映されます。

4.4.6 画面の背景色を設定する[画面カラー設定]

画面背景色(白／黒)を設定します。

設定画面で「表示設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)

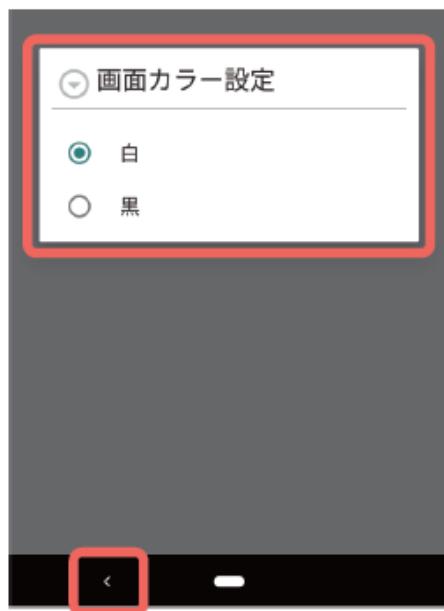


1 「画面カラー設定」をタップする。

⇒ 設定画面が表示されます。

4 設定編

4.4 表示に関する設定を行う[表示設定]



2 画面の背景色を設定する。

白: 背景色が「白」になります

黒: 背景色が「黒」になります

3 □(戻る)をタップする。

⇒ 設定が反映されます。

4.4.7 AUX 名称を設定する[AUX 名称]

カメラ操作パネルにあるAUX 制御の[Open]ボタン、[Close]ボタンの名称を設定します。

設定していない場合は、カメラで設定している名称を本アプリに表示させます。



- カメラで設定している名称を本アプリに表示されるのは、以下のカメラのみです。(2.2.2 ライブ映像の種類について)
 - ・独立カメラ
 - ・i-PRO Remo. Serviceに登録したエッジストレージ配下カメラ(エッジストレージ経由)

設定画面で「表示設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)



1 [AUX 名称]をタップする。

⇒ 設定画面が表示されます。

4 設定編

4.5 音声に関する設定を行う[音声設定]



2 ボタン名称を5文字以内で入力する。

入力不可文字:半角記号「"」「&」

3 [登録]をタップする。

⇒ 入力したボタン名が登録されます。

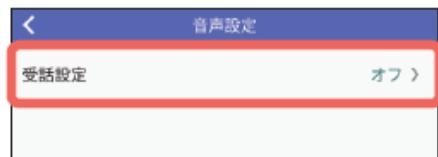
4.5 音声に関する設定を行う[音声設定]

ライブ映像と再生映像の音声受話のオン／オフを設定します。

ライブ映像の映像と音声の対応については、「[3.1.3 ライブ映像の映像／音声について](#)」をお読みください。

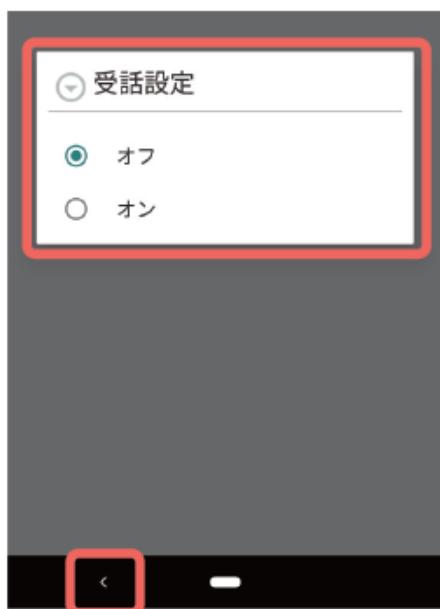
再生映像の映像と音声の対応については、「[3.5.3 再生映像の映像／音声について](#)」をお読みください。

設定画面で「音声設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)



1 [受話設定]をタップする。

⇒ 設定画面が表示されます。



2 音声の受話のオン／オフを設定する。

オン: 音声の受話を設定します

オフ: 音声の受話を設定しません

3 □(戻る)をタップする。

⇒ 設定が反映されます。

4.6 アラーム通知に関する設定を行う[通知設定]

本アプリでは、モバイル通知ツールとi-PRO Remo. Service の2つのサービスからアラームを受信することができます。

i-PRO Remo. Service の場合は、Web サービス設定(4.3 i-PRO Remo. Service に関する設定を行う[Web サービス設定])を完了するとアラームを受信できます。

以下はモバイル通知ツールの設定方法になります。

カメラやレコーダーからのアラーム通知を受信することができるよう設定します。

以下の設定が必要です。

- モバイル端末情報の登録
- モバイル通知ツールの登録
- 機器情報の取得



- アラーム通知に関する操作や設定、モバイル通知ツールについて詳しくは、以下のウェブサイトを参照してください。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/tools/i-pro-mobile-app/i-pro-mobile-notification-tool

4 設定編

4.6 アラーム通知に関する設定を行う[通知設定]

4.6.1 モバイル端末情報を登録する[モバイル端末情報]

モバイル通知ツールのホーム画面に表示するモバイル端末名を登録します。

設定画面で「通知設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)



1 [モバイル端末情報]をタップする。

⇒ モバイル端末情報画面が表示されます。



2 モバイル端末名を16文字以内で入力する。

例: 管理者A(入力可能文字: 英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、記号)

3 [登録]をタップする。

⇒ 入力したモバイル端末名が登録されます。

4.6.2 モバイル通知ツールを設定する[モバイル通知ツール設定]

モバイル端末にモバイル通知ツールを設定します。

最大5台まで設定できます。

設定画面で「通知設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)



1 [モバイル通知ツール設定]をタップする。

⇒ モバイル通知ツール設定画面が表示されます。

4 設定編

4.6 アラーム通知に関する設定を行う[通知設定]



2 **+(新規登録)**をタップする。

⇒ モバイル通知ツールの登録画面が表示されます。



3 「ツールのID」と「ツールの登録パスワード」を入力する。

モバイル通知ツールの設定にあわせて上記を入力します。
「ツールのID」は英数字(16文字以内)をハイフン無しで
入力してください。

4 [登録]をタップする。

⇒ 画面下の「名称」「通知許可」「サムネイル許可」の情
報が自動的に取得され、登録情報が表示されます。



4.6.3 モバイル通知ツールを削除する

モバイル端末に登録されているモバイル通知ツールを削除します。

通知設定画面で[モバイル通知ツール設定]をタップします。(4.6.2 モバイル通知ツールを設定
する[モバイル通知ツール設定])

4 設定編

4.6 アラーム通知に関する設定を行う[通知設定]



1 モバイル通知ツールの名称の右にある  をタップする。
⇒ モバイル通知ツールの登録画面が表示されます。



2 [モバイル通知ツール削除]をタップする。
⇒ 確認画面が表示され、「OK」をタップすると、選択したモバイル通知ツールが削除されます。

4.6.4 機器情報を取得する

アラーム通知の以下の機能を使用するためには、機器(カメラ/レコーダー)からあらかじめ情報を取得する必要があります。

- アラーム通知のポップアップ表示にアラームが発生した機器名称を表示する
- アラーム通知のポップアップ表示をタップして、アラームが発生したカメラのライブ映像を表示する

情報を取得できていない機器がある場合、以下の手順で情報を取得することができます。



- 機器登録を行う際に機器情報を取得します。そのため、機器を新規登録した場合はこの操作は必要ありません。Panasonic Security Viewer(本アプリの旧名称)V6.0 未満から本アプリにバージョンアップした場合、機器情報の取得が必要です。

設定画面で「通知設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)

4 設定編

4.6 アラーム通知に関する設定を行う[通知設定]



1 [機器情報取得]をタップする。
⇒ 機器情報取得画面が表示されます。



2 [実行]をタップする。
画面には本アプリに登録済の機器の中で、機器情報を取得していない機器の一覧が表示されています。
⇒ [実行]をタップすると、機器情報の取得が開始されます。

3 [OK]をタップする。

取得が完了し「機器情報を取得しました。」のメッセージ画面が表示されたら、[OK]をタップします。

4.6.5 通知のオン／オフを設定する

モバイル端末で管理している本アプリの「通知」設定のオン／オフ状態の確認や変更ができます。
設定画面で「通知設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)

通知設定画面では「通知のオン／オフ設定」に現在の設定が表示されます。
設定を変更したい場合は、以下の操作を行います。



1 [通知のオン／オフ設定]をタップする。
⇒ モバイル端末側のi-PRO Mobile APPの設定画面が表示されます。

4 設定編

4.7 インターネットモードを設定する[詳細設定]



※画面は一例です。

4.7 インターネットモードを設定する[詳細設定]

4.7.1 インターネットモードとは

インターネットモードとは、カメラのH.265(またはH.264)画像をインターネット経由で配信する場合に設定するモードです。このモードに設定すると、ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでストリームを配信することができます。

本アプリがライブ映像で動画ストリームを受信するためには、カメラ側で「インターネットモード(over HTTP)」を「On」に設定しておく必要があります。

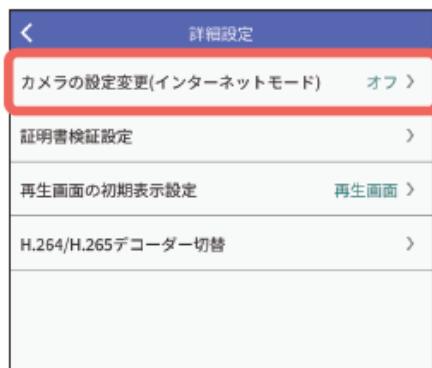
4.7.2 設定方法

ここでは、カメラ側で「インターネットモード(over HTTP)」が「Off」に設定されていても、自動的に「インターネットモード(over HTTP)」を「On」にするかどうかを設定します。

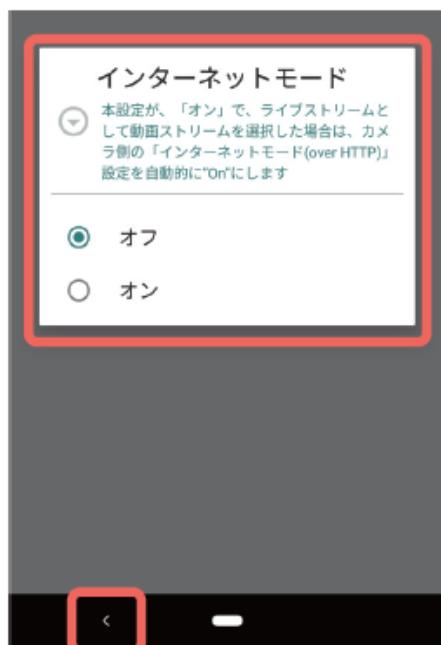
設定画面で「詳細設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)

4 設定編

4.8 再生画面の初期表示設定を行う[詳細設定]



1 [カメラの設定変更(インターネットモード)]をタップする。
⇒ 設定画面が表示されます。



2 インターネットモードのオン／オフを設定する。

オフ: カメラ側の「インターネットモード(over HTTP)」が「Off」の場合、自動的に「On」にしません。

オン: カメラ側の「インターネットモード(over HTTP)」が「Off」の場合、自動的に「On」にします。

3 [戻る]をタップする。

⇒ 設定が反映されます。

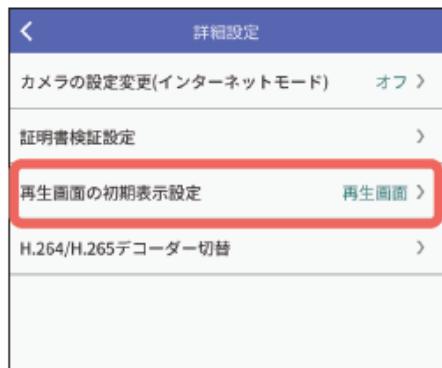
4.8 再生画面の初期表示設定を行う[詳細設定]

カメラリスト画面(再生) (3.5.1 カメラリスト画面(再生)について)でカメラを選択した際に表示される画面を選択します。「再生画面」または「イベント画面」のどちらかを選択できます。
本設定は独立カメラのSD録画の場合のみ有効です。

設定画面で「詳細設定」をタップします。(4.1 各種設定をする)

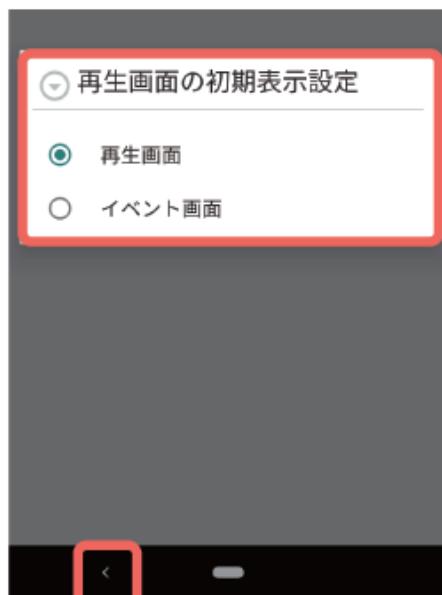
4 設定編

4.9 H.264 とH.265 映像表示に使用するデコーダーを切り替える[H.264/H.265 デコーダー切替]



1 [再生画面の初期表示設定]をタップする。

⇒ 設定画面が表示されます。



2 表示画面を設定する。

再生画面 :選択したカメラの再生画面(3.5.2 再生画面について)が表示されます。

イベント画面:選択したカメラのイベント画面(3.7.2 イベントを検索して再生する)が表示されます。

3 [(戻る)をタップする。

⇒ 設定が反映されます。

4.9 H.264 とH.265 映像表示に使用するデコーダーを切り替える[H.264/H.265 デコーダー切替]

H.264、H.265 の映像表示に使用するデコーダーを切り替えます。

H.264／H.265 映像が表示されない、色が正しくないなど、表示に問題がある場合、デコーダーを変更することで改善される場合があります(必ずしも改善されるとは限りません)。

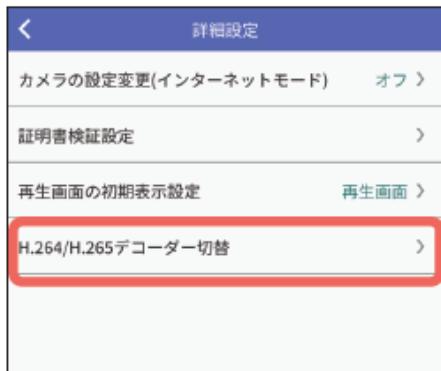


- 本機能は Android端末のみの機能です。Android以外のモバイル端末では使用できません。
- モバイル端末によって、選択できるデコーダーは異なります。
- デコーダー変更後、実際にライブ映像の表示が改善しているかどうか確認し

4 設定編

4.9 H.264 とH.265 映像表示に使用するデコーダーを切り替える[H.264/H.265 デコーダー切替]

てください。改善していない場合、別のデコーダを再度選択してください。もし、表示が悪化した場合は、元のデコーダーに戻してください。



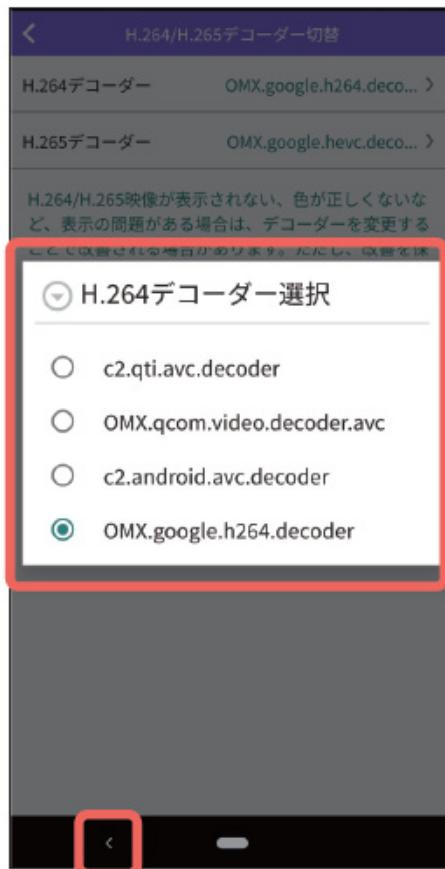
- 1 [H.264/H.265 デコーダー切替]をタップする。
⇒ H.264/H.265デコーダー切替画面が表示されます。



- 2 [H.264 デコーダー]または[H.265 デコーダー]をタップする。
⇒ 設定画面が表示されます。

4 設定編

4.10 中継サーバ経由時の映像設定を行う



3 デコーダーを選択する。

4 < (戻る)をタップする。

⇒ 設定が反映されます。

画面例:H.264 デコーダーの場合

4.10 中継サーバ経由時の映像設定を行う

i-PRO Remo. Serviceのカメラの映像を表示する場合、ネットワーク回線の設定によって中継サーバを経由する場合があります。

中継サーバを経由する場合、映像が途切れたり、スムーズに見えなくなることがあります。

フレームレートやビットレートを変更することで改善される場合があります。(必ずしも改善されるとは限りません)。

4 設定編

4.10 中継サーバ経由時の映像設定を行う



1[中継サーバ経由時の映像設定]をタップする

⇒ 中継サーバ経由時の映像設定画面が表示されます。

2[モード]をタップする

3 モードを選択する。

標準を選択している場合、1920×1080より解像度が高いカメラにおいて中継サーバを経由する場合はVGA(640×320)/10fps/512kbpsに画質変更します。

詳細設定を選択している場合、カメラの解像度に依らずVGA(640×320)に、ビットレート、フレームレートを各選択肢の値に変更します。

標準設定で画像のカクつきなどが発生する場合

場合は詳細設定を行ってください。

4 (戻る)をタップする。

⇒ 設定が反映されます。

4 設定編

4.10 中継サーバ経由時の映像設定を行う



5 フレームレートを選択する。

詳細設定を選択している場合、フレームレートとビットレートを設定できます。

中継サーバを経由する場合に設定したフレームレートに変更されます。

標準設定で画像のカクつきなどが発生する場合は詳細設定を行ってください。

6 (戻る)をタップする。

⇒ 設定が反映されます。

7 ビットレートを選択する。

詳細設定を選択している場合、フレームレートとビットレートを設定できます。

中継サーバを経由する場合に設定したビットレートに変更されます。

標準設定で画像のカクつきなどが発生する場合は詳細設定を行ってください。

8 (戻る)をタップする。

⇒ 設定が反映されます。

4 設定編

4.11 設定データを保存する[設定データの保存／読み込み]

4.11 設定データを保存する[設定データの保存／読み込み]

本アプリで設定したデータをファイルとして保存します。

ファイルはBIN ファイル(拡張子:.bin)で保存されます。

4.11.1 ファイルとして保存できる設定

- 機器情報(カメラ／カメラ(マルチセンサー)／エンコーダ／レコーダー／カメラ(ONVIF)／i-PRO Remo. Service)
- Web サービス設定(i-PRO Remo. Service)
- モバイル通知ツール設定情報
- 表示設定
- 音声設定
- 詳細設定(インターネットモード、証明書検証、再生画面の初期表示設定)

4.11.2 保存されるファイル名

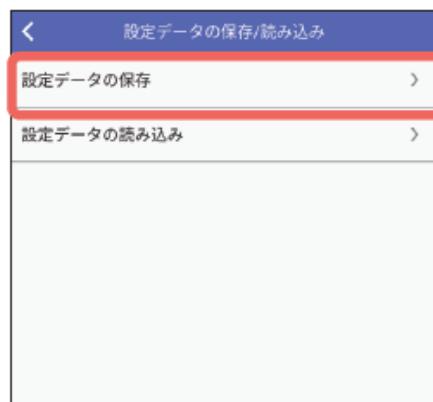
ファイル名は年月日時分秒をもとに付与されます。

Android : isv_android_yyyymmddhhmmss.bin

iOS : isv_ios_yyyymmddhhmmss.bin

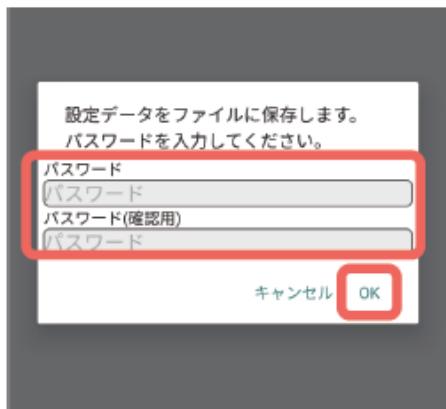
4.11.3 操作手順

設定画面で「設定データの保存／読み込み」をタップします。(4.1 各種設定をする)



1 「設定データの保存」をタップする。

⇒ パスワード入力画面が表示されます。



2 「パスワード」「パスワード(確認用)」を入力し[OK]をタップする。

パスワードは半角英数字記号を8～32文字で入力してください。

⇒ ファイルの保存先を選択する画面が表示されます。

3 ファイルの保存先を選択して保存する。

⇒ 保存を完了した旨をお知らせするメッセージと保存したファイルのファイル名が表示されます。

- 入力したパスワードは保存したファイルを読み込む際に必要になります。(4.12 設定データを読み込む[設定データの保存／読み込み])



4.12 設定データを読み込む[設定データの保存／読み込み]

保存された設定ファイルを読み込んで、設定データを復元します。



- 読み込むアプリのバージョンより新しいバージョンで保存された設定ファイルは、読み込むことができません。アプリを最新のバージョンにアップデートしてください。
- 設定ファイルを読み込む際、ファイルの保存時に設定したパスワードが必要です。(4.11 設定データを保存する[設定データの保存／読み込み])

設定画面で「設定データの保存／読み込み」をタップします。(4.1 各種設定をする)

4 設定編

4.12 設定データを読み込む[設定データの保存／読み込み]

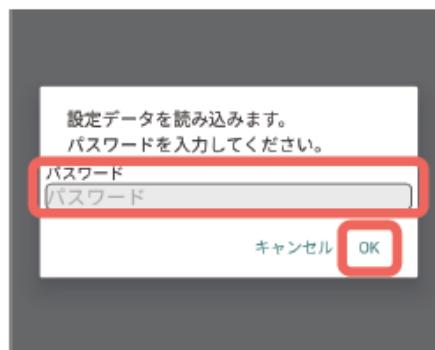


1 [設定データの読み込み]をタップする。

⇒ ファイルの選択画面が表示されます。

2 読み込むファイルを選択する。

⇒ パスワード入力画面が表示されます。



3 ファイル保存の際に選択したパスワードを入力し[OK]をタップする。

⇒ ファイルの読み込みが完了した旨をお知らせするメッセージが表示されます。

4 [OK]をタップする。

⇒ 「設定データを読み込みました。」のメッセージ画面が表示されたら、[OK]をタップします。

5 その他

5.1 仕様

OS	Android:10.0 以上 iOS:13.0 以上
Wireless Network	3G / 4G / 5G / LTE / 回線無線LAN(Wi-Fi)
レコーダー／カメラ／エンコーダ登録数	カメラ＋エンコーダ:最大50 ch レコーダー:最大100 台
ライブへのアクセスタイプ	カメラ直接、レコーダー経由
ライブモニターでの機能	多画面モード 6 分割 / 8 分割 / 9 分割 / 16 分割 * 分割はWJ-HD616/HD716 非対応
横向き表示	○
画面切り替え	フリック操作で前後カメラの映像表示 多画 ⇒ 1 画:対象カメラをタップ 1 画 ⇒ 多画:戻るボタン / 画面切り替えボタン
カメラ制御	パンチルト、ズーム表示、解像度切替(320、640、1280)、フォーカス(オートフォーカス、近距離、遠距離)、プリセット(HOME、P1 ~ 3)
カメラのAUX 制御	○
カメラの手動 録画	○
デジタルズーム	○(ピンチイン・ピンチアウト)
スナップショット 保存	○
再生での機能	多画面モード 1 画のみ 横向き表示 ○ 再生制御 再生、一時停止、逆再生、スキップ / 逆スキップ、高速再生 / 高速逆再生、コマ送り / 逆コマ送り、最新再生(レコーダー設定による) SD 再生 ○

5 その他

5.1 仕様

再生映像の ダウンロード	○
録画	イベント検索、日時検索
デジタルズーム	○(ピンチイン・ピンチアウト)
スナップショット	○
保存	
再生モード	低負荷再生(Iフレームのみ)／通常再生／モバイル再生 *3
ライブ フレームレート *1	カメラ設定を優先／0.5／1／2／5 fps
ライブ 解像度 *4	カメラ設定を優先／320／640／1280(縦横比はカメラ依存)
映像 フォーマット	独立カメラのライブ映像、レコーダー配下カメラのライブ映像(レコーダー経由):JPEG、H.264、H.265 ※カメラの機種によっては対応していない映像もあります。 レコーダー配下カメラのライブ映像(カメラ直接):JPEG WJ-HD616/HD716 経由:H.264 独立エンコーダのライブ映像、WJ-SD202K 配下カメラのライブ映像:MJPEG、H.264
再生	SD 録画の再生、通常再生、低負荷再生:H.264、H.265 ※MJPEG/MPEG4で録画している場合は再生できません。 モバイル再生:JPEG、H.264、H.265
言語	日本語／英語／簡体字中国語 (言語は端末の設定により自動的に切り替わります。)
音声	G.726 とAAC-LC に対応。 ライブ映像と再生映像の種類によって受話可能な音声が異なります *5
タイトル文字数	16 文字

アクセス可能ユーザ数 * ²	ライブ (カメラ直接)	i-PRO SmartHD/EXTREME シリーズカメラ/ エンコーダー/WJ-SD202K:最大14 ユーザ /ch(先優先 * ⁶)
	ライブ (レコーダー経由)	NV シリーズレコーダー/NX シリーズレコーダー/ NU シリーズレコーダー:最大13 ユーザ/ch(先 優先 * ⁶)
	再生 (通常・低負荷再生)	NV シリーズレコーダー/WJ-ND400/ WJ-HD616/HD716:最大1 ユーザ/ch(後優 先 * ⁷)
		NX シリーズレコーダー/NU シリーズレコーダー: 最大13 ユーザ/ch(先優先 * ⁶)
	再生 (モバイル再生)	DG-NV200:最大4 ユーザ(後優先 * ⁷) WJ-NV300/NV250:最大8 ユーザ(後優先 * ⁷) WJ-HD616/HD716:最大8 ユーザ(後優先 * ⁷) NX シリーズレコーダー/NU シリーズレコーダー: 最大16 ユーザ(後優先 * ⁷)
	SD カード再生	WJ-NV300/NV250:最大1 ユーザ(先優先 * ⁶) NX シリーズレコーダー/NU シリーズレコーダー: 最大2 ユーザ(先優先 * ⁶)
		i-PRO SmartHD/EXTREME シリーズカメラ/ WJ-SD202K:最大1 ユーザ(先優先 * ⁶)

*1:JPEG 時のみ設定できます。

表示性能は使用環境・端末によって異なります。

カメラライブの映像が遅延する場合は、ライブフレームレートを低フレームレートに変更してく
ださい。

*2:PC アプリケーション/ブラウザからのアクセスユーザを含みます。

i-PRO Remo. Serviceの場合は、以下のウェブサイトの「仕様」→「仕様/動作環境/制限
事項」を参照してください。

<https://japancs.i-pro.com/space/IWSM>

*3:WJ-NV250、WJ-NV300、NX シリーズ、NU シリーズで再生時のみ使用可能となります。

*4:JPEG 時のみ設定できます。指定した解像度のJPEG が取得できない場合はカメラ設定の
JPEG を取得します。

*5:ライブ映像と音声に対応については「3.1.3 ライブ映像の映像/音声について」、再生映像
と音声については「3.5.3 再生映像の映像/音声について」を参照。

5 その他

5.1 仕様

*6:「先優先」とは、アクセス可能ユーザ数を超過した状態で新たに端末がアクセスした場合、その端末がライブ／再生ができないことです。

*7:「後優先」とは、アクセス可能ユーザ数を超過した状態で新たに端末がアクセスした場合、その端末はライブ／再生が可能だが、一番先にアクセスした端末がライブ／再生できなくなることです。

6 バージョンアップに関するお知らせ

Ver 12.1.0の新機能について(2024年10月リリース)

主なバージョンアップ内容

- 音声送話機能 (i-PRO Remo. Service)
- 画質設定機能 (i-PRO Remo. Service)
- AUX制御機能 (i-PRO Remo. Service)
- 中継サーバ経由時の映像設定 (i-PRO Remo. Service)
- カメラの設定機能 (独立カメラ)

音声送話機能 (i-PRO Remo. Service)

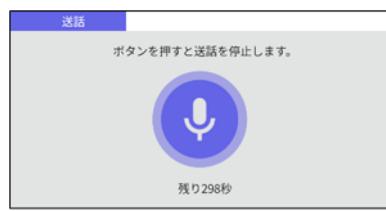
本アプリを使ってスマートフォンからi-PRO Remo. Serviceに登録しているカメラに音声を送話することができます。



- 音声送話機能に対応しているライブ映像の種類は以下です。[\(2.2.2 ライブ映像の種類について\)](#)

- ・ i-PRO Remo. Serviceに登録したカメラのライブ映像(カメラダイレクト接続)
- ・ i-PRO Remo. Serviceに登録したエッジストレージ配下カメラのライブ映像(エッジストレージ経由)

上記以外のカメラの場合、カメラ操作パネルに[音声送話]ボタンは表示されません。



音声送話中



音声送話停止中

画質設定機能 (i-PRO Remo. Service)

本アプリを使ってi-PRO Remo. Serviceに登録しているエッジストレージ配下のカメラの画質の設

定を調整することが出来ます。



- 画質設定機能に対応しているライブ映像の種類は以下です。

- ・i-PRO Remo. Serviceに登録したエッジストレージ配下カメラのライブ映像(エッジストレージ経由)([2.2.2 ライブ映像の種類について](#))



設定ボタンをタップします

コントロールパネルに画質一覧が表示され、それぞれの設定を変更することができます。

画質基本調整	明るさ 最大ゲイン シャープネスレベル デジタル・ノイズ・リダクション
スーパーダイナミック	スーパーダイナミック レベル、逆光/強光補正 逆光補正レベル 強光補正レベル
光量制御モード	光量制御モード 最長露光時間 光量調整速度
白黒切替	白黒切替
インテリジェントオート	インテリジェントオート 顔優先レベル(明るさ) 動き優先レベル(シャッター時間)
ズーム/フォーカス調整	倍率指定調整 オートフォーカス カラー/ 白黒切替連動
オートバックフォーカス	オートバックフォーカス

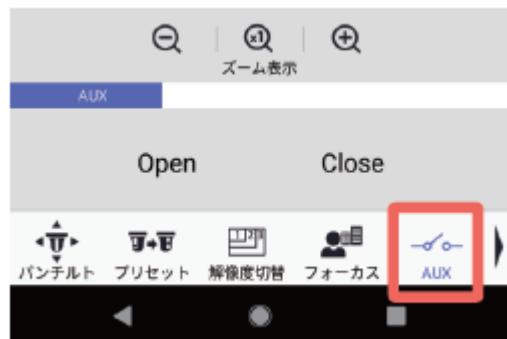
AUX制御機能 (i-PRO Remo. Service)

i-PRO Remo. Serviceに登録したエッジストレージ配下カメラのAUX端子に接続された機器をオ

ブン状態／クローズ状態にします。



- カメラのAUXを制御できるのは、以下のカメラのみです。[\(2.2.2 ライブ映像の種類について\)](#)
 - ・独立カメラ
 - ・レコーダー配下カメラ
 - ・i-PRO Remo. Serviceに登録したエッジストレージ配下カメラのライブ映像(エッジストレージ経由) 新規
- 上記以外のカメラの場合、カメラ操作パネルに[AUX]ボタンは表示されません。
- AUX機能を使用するには以下の設定が必要です。
 - ・カメラの端子3の設定を「AUX出力」にする。
 - ・i-PRO Remo. Serviceの権限設定で「カメラ制御」を有効にする。(i-PRO Remo. Serviceに登録したエッジストレージ配下カメラのAUX制御を行う場合)
- [Open]ボタン、[Close]ボタンの名称は変更することができます。変更方法については、「[4.4.7 AUX 名称を設定する\[AUX 名称\]](#)」をお読みください。
- AUX制御は、ライブ映像で状態を確認できる用途で使用してください。
(例:カメラが設置されている場所の照明を制御する など)



[Open] : カメラのAUX端子がOpen状態になります。

[Close] : カメラのAUX端子がClose状態になります。

中継サーバ経由時の映像設定 (i-PRO Remo. Service)

i-PRO Remo. Serviceのカメラの映像を表示する場合、ネットワーク環境によって中継サーバを経由する場合があります。

中継サーバを経由する場合、映像が途切れたり、スムーズに見えなくなることがあります。
フレームレートやビットレートを変更することで改善される場合があります。



1[中継サーバ経由時の映像設定]をタップする

⇒中継サーバ経由時の映像設定画面が表示されます。

モードの設定、フレームレートの設定、ビットレートの設定ができます。